
技術にこころをこめて75年
HITACHI
シンプルがいいね、技術も。
近年、"技術"はますます高度で複雑になってきました。専門知識を持った人や経験を積んだ人でなくては扱えないような機械もふえています。でも本来機械は、誰もが気軽に使えるものであるべきでしょう。これからの技術には単純明快なわかりやすさが必要なのです。いま日立はインターフェイスという言葉のもとに、人間と技術とのよりよい関係、誰もがかんたんに使いこなせる技術の実現をめざして研究・開発をすすめています。
技術との自由な対話
Interface

第11回日本リーグ〈前期〉

激烈なる星のつぶし合い 大混戦で前期を終了



各チームの星のつぶし合いで始まった第11回日本リーグ（写真は本田・内藤のシュート）

第11回日本リーグの前期は、5月31日に開幕、6月22日まで4週にわたって全国各地で熱戦をくり広げた。

今回のリーグ戦は、かつてないほどの激戦で、男女とも全勝のチームが1チームもなく、互いに星をつぶし合うという展開で、後期に大変興味をつないだ。

〈男子〉日新製鋼が一歩リード

第1週第1日（5月31日）

▼岩井市立総合体育館（茨城）

大崎電気 31（15－11、16－9）20 三景

○…首藤の豪快なロング2連発で先手を取った大崎は、星野のスピーディな速攻もからめ、10分までで5－1と先行。一方、8年ぶりの一部復帰で張り切る三景は、体格のハンデを攻撃的なディフェンスと小兵・近藤の俊敏なプレーで応戦するが、若手ヒッター郡司を故障で欠いたこともあって、上からの攻めに決定打を欠き、イージーシュートミスも続き22分までに4－14と大きく水をあけられた。

その後、大量リードで大崎の攻撃が雑になったところを逆速攻で反撃、前半を9－16と差をつめた三景にチャンスの芽がふくらみかけたが、後半出だしに4連続失点を喫して追撃ムードがしぼんだ。

〔三景〕	得		〔大崎〕	得
中村	0	GK	渡辺	0
北川	0	GK	矢内	0
田畑	4	FP	松岡	4
太田	3	FP	武田	1
近藤	7	FP	首藤	8
高橋	0	FP	中田	1
峰尾	0	FP	山本	6
福永	3	FP	越迫	0
田村	1	FP	菅田	2
鈴木	1	FP	星野	5
山田	1	FP	大和田	0
大谷	0	FP	宮下	4
(1)	20	PT	(4)	31

（審・横瀬 矢澤）

第1週第2日（6月1日）

▼東風平町営体育館（沖縄）

三陽商会 25（13－8、12－9）17 湧永製薬

○…三陽商会は、立ち上がりか

〔湧永〕	得		〔三陽〕	得
大城	0	GK	大山	0
井藤	0	GK	宇田川	0
生駒	8	FP	吉原	0
藤本	1	FP	清家	3
志賀	2	FP	田口	1
中川	0	FP	瓜田	0
内田	1	FP	砂川	8
荷川取	0	FP	山口	3
山本	2	FP	石原	0
奥田	1	FP	実方	6
楢原	2	FP	安藤	0
河原	0	FP	河村	4
(4)	17	PT	(5)	25

（審・岡本 清水）

ら若さあふれるプレーで攻守に精彩を欠く湧永製薬を終始圧倒、20分山本監督を投入し立て直しを計る湧永にジワジワ詰め寄られながらも、何とか3点リードを保って前半終了。

後半、15分までは一進一退の攻防をくり返したが、三陽は砂川の速攻をきっかけに怒涛の速攻を浴びせ、王者・湧永を圧倒した。

主力の関をケガで欠きながらの大金星は、今後のリーグの行方を面白くすることは間違いあるまい。

なお、湧永・山本は、後半8分PTを決め、連続94試合得点を達成。

〈男子〉前期成績

順位	チーム名	日新	本田	三陽	湧永	大崎	三景	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失差
①	日新製鋼	＼	○ 25—16	○ 28—19	● 19—28	○ 30—22	○ 25—22	4	1	0	8	126	107	＋19
②	本田技研鈴鹿	● 16—25	＼	○ 32—20	○ 27—19	● 23—24	○ 34—14	3	2	0	6	132	102	＋30
③	三陽商会	● 19—28	● 20—32	＼	○ 25—17	○ 30—20	○ 24—23	3	2	0	6	118	120	－2
④	湧永製薬	○ 20—18	● 19—27	● 17—25	＼	○ 28—25	○ 24—20	3	2	0	6	108	115	－7
⑤	大崎電気	● 22—30	○ 24—23	● 20—30	● 25—28	＼	○ 31—20	2	3	0	4	122	131	－9
⑥	三景	● 22—25	● 14—34	● 23—24	● 20—24	● 20—31	＼	0	5	0	0	99	138	－39

※2～4位は、チーム間の対戦成績による。

▼東根市民体育館（山形）

日新製鋼25（15—6 / 10—10）16本田技研鈴鹿

○…前半立ち上がり両チームとも固さが見られたが、本田技研が速攻でリズムをつかみリードした。しかし、日新も西山を中心に粘り強いセット攻撃で同点とし、前半を終了。

後半スタートから日新は激しいディフェンスとGK西川の好守により2点を先行、その後常にリードを保ち、後半20分過ぎの連続速攻で試合を決めた。

得	〔日新〕		〔本田〕	得
0	西川	GK	大畑	0
0	森田	GK	橋本	0
2	森	FP	佐々木	0
2	武田	FP	三本松	0
6	西山	FP	田野	1
2	吉見	FP	立木	3
1	甲斐	FP	尾上	3
4	藤井	FP	内藤	3
0	日野	FP	粟屋	5
4	堀田	FP	吉山	1
0	一瀬	FP	田口	0
4	高木	FP	坂本	0
25	(5)	PT	(0)	16

（審・菅野・半田）

第2週第1日（6月7日）

▼駒沢屋内球技場（東京）

湧永製薬24（10—15 / 14—5）20三景

○…湧永がロング、サイド、カットインなど多彩な攻撃で確実に得点を重ねる。三景も速攻、ポストなどで反撃するが、ミスが出て前半で9点の大差がついた。

後半に入り、ディフェンスを固めた三景に得意の速攻が出始め、小兵・近藤、大田などで一気に16—14まで追いすがった。ここで湧永は監督兼任の山本がミドルシュートを決め、さらに生駒のロングなどで追いすがる三景を突き放した。

三景にとって、前半の大差が最後までひびいた。

得	〔湧永〕		〔三景〕	得
0	大城	GK	中村	0
0	井藤	GK	北川	0
7	生駒	FP	田畑	3
1	藤本	FP	太田	4
1	志賀	FP	近藤	6
4	中川	FP	高橋	0
4	内田	FP	福永	0
3	山本	FP	田村	1
2	奥田	FP	鈴木	1
3	楢原	FP	日越	0
0	河原	FP	山田	0
		FP	郡司	5
24	(1)	PT	(1)	20

（審・岡本・清水）

▼同

三陽商会30（15—14 / 15—6）20大崎電気

○…三陽は砂川のサイドシュートで先制、その後実方のロング、GK宇田川の好守で20分には10—4とリード。

大崎も宮下、首藤がロングを打つが単発、前半は予想外の大差がついた。

後半に入っても三陽の勢いは衰えず、清家のミドルなどで15分には22—11とダブルスコア、この後大崎のエース・首藤のロングが決まり始めたが、試合の流れは変えられなかった。

〔大崎〕	得		〔三陽〕	得
岡部	0	GK	大山	0
矢内	0	GK	宇田川	0
松岡	0	FP	清家	8
武田	0	FP	田口	1
首藤	9	FP	瓜田	0
中田	1	FP	砂川	4
山本	1	FP	山口	4
越迫	1	FP	石原	0
菅田	0	FP	実方	9
星野	1	FP	安藤	1
大和田	0	FP	河村	3
宮下	7	FP	吉原	0
	20			30
	(0)	PT		(2)

〔審・平井 佐野〕

第2週第2日（6月8日）

▼栃木市総合体育館

大崎電気 24〔14—12 10—11〕23 本田技研鈴鹿

○…5分まで大崎電気は3—0と好調なすべり出しを見せたが、その後両チームともGKの好守により再三のチャンスをつぶした。本田は佐々木の投入があたり、1点を争う好ゲームとなった。タイムアップ寸前、大崎はサイドのスカイプレーで決勝点をあげた。

〔本田〕	得		〔大崎〕	得
大畑	0	GK	岡部	0
橋本	0	GK	矢内	0
佐々木	2	FP	松岡	1
三本松	3	FP	武田	0
田野	2	FP	首藤	8
立木	4	FP	中田	1
尾上	1	FP	山本	5
内藤	1	FP	越迫	0
栗屋	1	FP	菅田	2
吉山	2	FP	星野	5
田口	5	FP	大和田	0
山本	2	FP	宮下	2
	23			21
	(0)	PT		(3)

〔審・矢澤 横瀬〕

▼山梨県営小瀬スポーツ公園体育館

日新製鋼 28〔15—9 13—10〕19 三陽商会

○…前日のゲームで、三陽商会はGK宇田川、攻撃の軸・実方を故障で欠き、ノーマークはできているがシュートミスにより攻守ともリズムにのれない。一方日新製鋼は、着実に速攻で得点をあげ、セットプレーにおいてもポストを多様に使い15—9で前半終了。

後半、流れのリズムをつかんだ日新はよく走り、着実に得点をあげていった。三陽は、日新のフォローディフェンスに今一つの攻撃ができないままこのゲームを消化した。

〔三陽〕	得		〔日新〕	得
大山	0	GK	西川	0
内野	0	GK	森田	0
吉原	0	FP	森	3
清家	3	FP	武田	3
田口	0	FP	西山	8
瓜田	0	FP	吉見	0
砂川	4	FP	甲斐	3
山口	4	FP	藤井	6
石原	1	FP	日野	0
実方	6	FP	堀田	4
安藤	1	FP	一瀬	1
河村	0	FP	野中	0
	19			28
	(1)	PT		(7)

〔審・平井 佐野〕

第3週第1日（6月14日）

▼鈴鹿市体育館（三重）

本田技研鈴鹿 32〔12—8 20—12〕20 三陽商会

○…ゲーム開始早々、本田技研PT得点によりスタート。本田・立木のロング、山本のサイドシュート、速攻などで加点。一方三陽もロングシュートや田口の活躍で互角のゲーム展開となるが、中盤以降三陽の攻撃にミスが多く、その間本田は速攻などにて点差を開き、本田の4点リードで折り返す。

後半に入り三陽も奮起し、7分過ぎ1点差まで追いつくが、その後本田ディフェンスが冴え、速攻からの加点などでジワジワとリード。20分過ぎまで三陽散発的な加点にとどまり、本田の一方的な試合展開で終了した。

〔三陽〕	得		〔本田〕	得
大山	0	GK	大畑	0
内野	0	GK	橋本	0
清家	5	FP	佐々木	1
田口	3	FP	田野	1
瓜田	0	FP	立木	9
砂川	2	FP	尾上	2
山口	0	FP	内藤	0
石原	0	FP	栗屋	3
実方	2	FP	吉山	5
安藤	2	FP	田口	3
河村	6	FP	坂本	1
吉原	0	FP	山本	7
	20			32
	(1)	PT		(3)

〔審・岩永 細井〕

第3週第2日（6月15日）

▼西宮市立中央体育館（兵庫）

湧永製薬 20〔8—11 12—7〕18 日新製鋼

○…立ち上がり両チームとも固さが見られ得点が動かず、3分過ぎ日新・西山の初得点によりゲームが動き出した。その後日新の攻撃が冴え、10分で4—1、20分で8—3と日新リードで進むが、湧永・山本の攻撃参加で湧永の動きも良くなり、その後たて続けに得点、結局11—8と日新の3点リードで前半を終了。

後半、逆に日新の攻撃のリズムが悪く、湧永のたて続けの退場にもつけ込めない。後半6分には11—11の同点。その後一進一退の攻防が続いたが、20分過ぎから湧永ペースになり、25分過ぎに逆転に成功、そのまま逃げ切った。

〔日新〕	得		〔湧永〕	得
西川	0	GK	大城	0
森田	0	GK	井藤	0
森	1	FP	生駒	5
武田	4	FP	藤本	1
西山	6	FP	志賀	3
吉見	0	FP	中川	3
甲斐	1	FP	内田	0
藤井	2	FP	山本	7
日野	0	FP	奥田	1
堀田	3	FP	檜原	0
一瀬	0	FP	河原	0
高木	1	FP		
	18			20
	(1)	PT		(1)

〔審・島崎 井上〕

▼岡崎市体育館（愛知）

本田技研鈴鹿 34〔13—8 21—6〕14 三景

○…立ち上がりから一進一退の攻防かと思われたが、前半10分あたりから三景のミスが目立ち始め、本田技研のペース。三景GKの中村がノーマークシュートをよくカットするものの、前半を13—8で終了した。

後半に入ってもゲームの流れは変わらず、自力に勝る本田が、速攻、セットで着々と得点を重ね、34—14の一方的なスコアでタイムアップとなった。

〔三景〕	得		〔本田〕	得
中村	0	GK	大畑	0
長橋	0	GK	橋本	0
田畑	2	FP	佐々木	3
太田	1	FP	田野	2
近藤	2	FP	立木	6
峰尾	0	FP	尾上	1
福永	1	FP	栗屋	3
田村	1	FP	吉山	5
鈴木	4	FP	田口	3
日越	0	FP	坂本	2
山田	0	FP	山本	6
郡司	3	FP	平子	3
	14			34
	(1)	PT		(3)

〔審・小山 飼沼〕

第4週第1日（6月20日）

▼**呉市体育館（広島）**

日新製鋼25（17−10／8−12）22三景

○…双方固い出足でチャンスをイージーミスでつぶす。先手をとったのは日新。3分、森の誤ったPTを西山が決め、続いて武田、甲斐とたたみかける三景も郡司、田畑の大砲で応戦するも散発で7点差で折り返す。

後半に入ってようやくエンジンのかかった三景は、スピードに乗った攻撃で左腕ルーキー鈴木、忍者・近藤が本領を発揮してじりじり追い上げ、18分に3点差まで詰め寄るが、今一つ決め手を欠き逆転には至らなかった。三景の善戦が光る好試合だった。

	〔三景〕	得	〔日新〕	得
GK	中村	0	西川	0
	北川	0	森田	0
FP	田畑	2	森	1
	太田	2	武田	4
	近藤	6	西山	4
	高橋	0	吉見	0
	峰尾	0	甲斐	2
	福永	0	藤井	3
	田村	1	日野	0
	鈴木	2	堀田	5
	郡司	9	一瀬	0
	山田	0	高木	6
		22		25
PT	(3)		(5)	

（審・中本、渡辺）

第4週第2日（6月21日）

▼**岐阜県民体育館**

本田技研鈴鹿27（15−7／12−12）19湧永製薬

○…立ち上がり、本田は山本のサイドからの得点で先行、一方の湧永も生駒の得点1−1とし、その後8分過ぎまで両者互角の展開であったが、9分過ぎから本田は再び山本が3連続ゴールを決め、ペースは一気に本田ペースとなった。この20分過ぎまでに本田は12点をあげたが、湧永は僅か5点にとどまり、前半でこの試合が決定づけられてしまった。本田は立木を中心に若手がきびきびしたプレーを見せたのに対し、湧永は全般的に元気さに欠けていた。

なお、この試合に出場した湧永の山本選手は、PT1本を決め、リーグ通算97試合連続得点となり更に記録を更新中である。

	〔湧永〕	得	〔本田〕	得
GK	大城	0	大畑	0
	井藤	0	橋本	0
FP	生駒	6	佐々木	1
	藤本	0	田野	1
	志賀	0	立木	5
	中川	2	尾上	2
	内田	1	内藤	1
	山本	1	粟屋	5
	奥田	3	吉山	5
	楢原	2	田口	0
	河原	4	坂本	1
			山本	6
		19		27
PT	(1)		(5)	

（審・千野、後藤）

▼**徳山市体育館（山口）**

日新製鋼30（16−13／14−9）22大崎電気

○…立ち上がり3分、日新・西山のロングで得点する。その後6分まで5−0と日新が主導権を握る。大崎は、13分西山にマンツーをかけ、速攻、ポストシュートと得点を重ね、13−16として前半を終わる。

後半も大崎は西山にマンツーをかけるが、両者譲らず、前半の3点をちぢめることができない。残り5分より日新の速攻、ロングと多彩な攻撃により突き放し、30−22で終了する。

	〔大崎〕	得	〔日新〕	得
GK	岡部	0	西川	0
	矢内	0	森田	0
FP	松岡	5	森	3
	武田	0	武田	9
	首藤	1	西山	6
	中田	0	吉見	0
	山本	2	甲斐	1
	越迫	1	藤井	5
	菅田	4	日野	0
	星野	7	堀田	5
	大和田	0	一瀬	0
	宮下	2	高木	1
		22		30
PT	(2)		(4)	

（審・山根、赤地）

▼**大阪市中央体育館**

三陽商会24（14−9／10−14）23三景

○…立ち上がり三景が鈴木の3得点などでリードしたが、10分を過ぎてから三陽は実方、清家の得点で盛り返し、前半を三陽が14−9とリードして終了した。

後半立ち上がり、積極的に攻めた三景が15分過ぎに同点とし、1点を争う好ゲームとなり、残り5分では三景が1点リードとなったが、逆に残り1分には三陽が1点をリード、三景・田畑のシュートを防いで逃げ切った。

	〔三景〕	得	〔三陽〕	得
GK	中村	0	大山	0
	北川	0	内野	0
FP	田畑	5	清家	5
	太田	0	田口	2
	近藤	4	瓜田	0
	高橋	0	砂川	1
	峰尾	0	山口	2
	福永	0	石原	1
	田村	3	実方	1
	鈴木	6	安藤	0
	山田	0	河村	1
	郡司	5	吉原	0
		23		24
PT	(1)		(3)	

（審・島崎、井上）



前期波乱の〝立役者〟三陽商会の若きエースの清家

第4週最終日（6月22日）

▼**京都市体育館**

湧永製薬28（14−8／14−17）25大崎電気

○…前半、立ち上がり、湧永が山本のステップシュートで先制。以後も山本の余裕のあるプレーを軸にコンビプレーで着実に得点を重ねた。

一方、試合前のアクシデントで山本を欠く大崎は、湧永の固いディフェンスにあい得点を続けることができない。前半15分過ぎより宮下を投入し懸命に追いかけるが、14−8と湧永のリードで前半を終了した。

後半に入ると、両チームとも攻撃にリズムが出だし、激しい点の取り合いを展開した。大崎の懸命のがんばりで3点差まで追いすがるが、勝負所で湧永・山本が3点を連取、これが勝負を決め28−25で湧永が勝利を収めた。

	〔大崎〕	得	〔湧永〕	得
GK	岡部	0	大城	0
	矢内	0	井藤	0
FP	松岡	4	生駒	2
	武田	2	藤本	3
	首藤	10	志賀	3
	中田	0	中川	2
	相馬	0	内田	1
	越迫	1	山本	8
	菅田	2	奥田	1
	星野	2	楢原	3
	大和田	1	河原	4
	宮下	3		
		25		28
PT	(2)		(4)	

（審・北山、大原）

〈女子〉立石が首位で折り返す

第1週第1日（5月31日）

▼岩井市立総合体育館（茨城）

日立栃木 20（11—14、9—6）20 日本ビクター

○…立ち上がりから若手を揃えていたビクターのハツラツとしたプレーに押されていた日立は、前半15分過ぎにエース前田が左足首を捻挫して退場、井沢、吉田のふんばりで反撃に転じたものの、前半終了間際に攻守にミスが続出して11—14と3点差をつけられて前半を折り返した。ビクターは長身ポスト・根本、サイドシューター長田、そしてツメのいいキープで大暴れした2年目の新鋭GK・小口の活躍で優位に立った。

後半に入っても小口のキープは冴えに冴え、開始3分故障をおして出場の前田のPTを阻んだのに続き、手打のノーマーク速攻を連続シャットアウト、さらに山岸、井沢のPTも見事にはじき出し、日立の攻撃陣の前に仁王立ちとなった。終了1分前に前田の執念のPTで辛くも追いついた日立にとってこの引き分けは「拾いもの」（伊藤監督）。ビクターは後半10分以降、シュート機会が僅か7本と消極的な攻めがたたって惜しくも金星を逃した。

〔日ビ〕

	選手	得
GK	渡辺	0
	小口	0
FP	武藤	4
	長田	8
	下條	1
	根本	4
	平松	0
	太田	0
	工藤	3
	枝川	0
	松井	0
	永岡	0
		20
PT		(4)

〔日立〕

	選手	得
GK	葛生	0
	岡本	0
FP	手打	3
	前田	3
	清水	1
	井沢	6
	吉田	3
	山岸	2
	菅原	0
	石毛	0
	中村	0
	尾苗	2
		20
PT		(2)

〔審・島田・高野〕

第1週第2日（6月1日）

▼東風平町営体育館（沖縄）

立石電機山鹿 24（9—9、15—7）16 大和銀行

○…前半、攻撃に決め手を欠く両チームは一進一退の攻防を展開、予断を許さないゲーム展開となり9—9で前半を終了。

後半開始早々、大和・上村のサイドで10—9とするが、立石もすぐ近藤の速攻で追いつき、後は続々と速攻を連発、じりじりと加点、前半のこう着状態を切り抜けた。

〔大和〕

	選手	得
GK	高浜	0
	増見	0
FP	丸田	0
	上西	6
	赤瀬	3
	佐々木	1
	植田	0
	天谷	0
	前田	0
	上村	5
	藤本	0
	鈴木	1
		16
PT		(6)

〔立石〕

	選手	得
GK	荒木	0
	岡本	0
FP	山口	1
	近藤	2
	江口	6
	岩村	3
	池上	3
	野嶋	3
	山内	4
	横田	0
	福家	1
	武津	1
		24
PT		(5)

〔審・大城・南〕

地力で一枚上手の立石は、その後も速攻で加点、後半10分で5点差と試合を決め初戦を飾った。

立石・岩村の攻守にわたるまとめ役が目についた。

〈女子〉前期成績

順位	チーム名	立石	ジャ	大崎	日立	大和	日ビ	勝	負	分	勝点	得点	失点	得失差
①	立石電機山鹿		○ 24—17	● 18—22	○ 21—16	○ 24—16	○ 25—14	4	1	0	8	112	85	＋27
②	ジャスコ	● 17—24		△ 19—19	○ 20—14	○ 27—21	○ 26—19	3	1	1	7	109	97	＋12
③	大崎電気	○ 22—18	△ 19—19		● 22—25	○ 21—18	○ 29—24	3	1	1	7	113	104	＋ 9
④	日立栃木	● 16—21	● 14—20	○ 25—22		○ 20—19	△ 20—20	2	2	1	5	95	102	－ 7
⑤	大和銀行	● 16—24	● 21—27	● 18—21	● 19—20		○ 19—16	1	4	0	2	93	108	－15
⑥	日本ビクター	● 14—25	● 19—26	● 24—29	△ 20—20	● 16—19		0	4	1	1	113	119	－ 6

※2、3位は得失点差によって決定

▼東根市民体育館（山形）

大崎電気 19（10—7、9—12）19 ジャスコ

○…前半、大崎電気はパスワークが良く、ポストプレーが決まりジャスコのノーマークシュートの

ミスにつけ込んでリードした。
　後半、ジャスコは大崎の李選手にマンツーマンをつけ、必死に追い上げ、残り3分で逆転に成功したが、李選手の同点シュートにより引き分けた。
　後半は、追いつ追われつのシーソーゲームであった。

〔ジャ〕		得
GK	木村	0
GK	小深田	0
FP	寺沢	2
FP	石田	1
FP	近藤	7
FP	鷲野	1
FP	服部	1
FP	高岡	5
FP	寺西	0
FP	池田	1
FP	常石	0
FP	池田	1
PT		(6)
		19

〔大崎〕		得
GK	大西	0
GK	梅野	0
FP	時実	2
FP	松尾	2
FP	塩谷	0
FP	石井	3
FP	沖山	3
FP	徳渕	0
FP	西村	0
FP	須永	0
FP	金玉花	1
FP	李相玉	8
PT		(2)
		19

（審・小友、谷口）

第2週第1日（6月7日）

▼駒沢屋内球技場（東京）

大和銀行 19（11—7、8—9）16 日本ビクター

○…立ち上がり10分まで両チーム一進一退だったが、大和銀行は丸田の速攻、赤瀬のポストシュート、速攻で点差を開いた。日本ビクターも反撃するが、4点差で前半を終了。
　後半に入り大和にノーマークミスが目立つ。この間、ビクターも長田のサイドシュートなどで反撃、2点差まで詰め寄ったが、退場者を2回出して追いつけなかった。

〔日ビ〕		得
GK	渡辺	0
GK	小口	0
FP	武藤	2
FP	長田	9
FP	下條	2
FP	根本	1
FP	平松	1
FP	太田	0
FP	工藤	1
FP	枝川	0
FP	松井	0
FP	永岡	0
PT		(3)
		16

〔大和〕		得
GK	高浜	0
GK	増見	0
FP	丸田	5
FP	上西	5
FP	赤瀬	5
FP	佐々木	2
FP	植田	1
FP	天谷	0
FP	前田	0
FP	裴川	0
FP	上村	1
FP	藤本	0
PT		(1)
		19

（審・菊池、栗岩）

第2週第2日（6月8日）

▼栃木市総合体育館（栃木）

立石電機山鹿 24（11—8、13—9）17 ジャスコ

○…前半両者互角の立ち上がりであったが、ジャスコに速攻、ロングシュートのミスが目立ったのに乗じ立石が得点、その後シュートの確率の悪くなったジャスコに対し立石は着々と加点、11—8で前半を折り返す。
　後半に入り波に乗った立石は、開始早々連続5得点し、一気にジャスコを突き放した。
　立石は前後半を通じ5度の退場者を出すが、ジャスコはこの間効率良く攻め切れず、結局後半出だしの立石の連続得点がものを言い24—17で勝負を決めた。

〔ジャ〕		得
GK	木村	0
GK	小深田	0
FP	寺沢	2
FP	石田	1
FP	近藤	9
FP	鷲野	1
FP	服部	2
FP	高岡	1
FP	寺西	0
FP	池田	0
FP	常石	1
FP	池田	0
PT		(2)
		17

〔立石〕		得
GK	荒木	0
GK	竹下	0
FP	山口	0
FP	近藤	2
FP	江口	3
FP	岩村	2
FP	池上	3
FP	野嶋	6
FP	山内	6
FP	横田	1
FP	福家	1
FP	武津	0
PT		(3)
		24

（審・山下、浜野）

▼同

日立栃木 20（14—8、6—11）19 大和銀行

○…大和の先取点で始まったが、日立の手打、井沢の活躍でリードを奪い、前半6点差をつける。
　後半大和は、日立のミス、退場の出たスキに追い上げ、10分から15分で5連続得点をあげたが、最後一歩及ばなかった。

〔大和〕		得
GK	高浜	0
GK	増見	0
FP	丸田	6
FP	上西	2
FP	赤瀬	0
FP	佐々木	3
FP	植田	3
FP	天谷	0
FP	前田	0
FP	裴川	0
FP	上村	4
FP	藤本	1
PT		(2)
		19

〔日立〕		得
GK	葛生	0
GK	岡本	0
FP	手打	4
FP	前田	2
FP	清水	1
FP	井沢	6
FP	吉田	2
FP	山岸	3
FP	菅原	0
FP	山口	0
FP	中村	0
FP	尾苗	2
PT		(2)
		20

（審・広沢、岡本）

▼山梨県営小瀬スポーツ公園体育館

大崎電気 29（13—12、16—12）24 日本ビクター

○…スタートはビクターのスピードが勝り、ロング、ポストなどで優位に展開したが、大崎も次第にスピードに乗り、速攻で攻め前半互角。
　後半、ビクターは単独プレーが多くなり、チームリズムがとれずオーバーステップ、チャージが当然多く、10～15分の5分間シュートなし、この間大崎に速攻で攻められ、結局この間の差がゲームを決めた。
　なお、李相玉選手は、この試合で8人目の200得点を達成した。

〔日ビ〕		得
GK	渡辺	0
GK	小口	0
FP	武藤	10
FP	長田	5
FP	下條	5
FP	根本	3
FP	平松	0
FP	太田	0
FP	工藤	1
FP	枝川	0
FP	松井	0
FP	永岡	0
PT		(2)
		24

〔大崎〕		得
GK	大西	0
GK	梅野	0
FP	時実	1
FP	松尾	5
FP	塩谷	0
FP	石井	5
FP	沖山	1
FP	徳渕	7
FP	須永	0
FP	李相玉	9
FP	江口	1
FP	鈴木	0
PT		(2)
		29

（審・千野、手塚）

第3週第1日（6月14日）

▼鈴鹿市体育館（三重）

ジャスコ 20（8—6、12—8）14 日立栃木

○…立ち上がりジャスコ・高岡の速攻による先取点でスタート。10分過ぎまでジャスコ・ディフェンスを攻めあぐむ間にジャスコ連続得点。ジャスコペースかと思われたが、日立も11分頃より攻撃にスピードが出てきて着々加点、シーソーゲームの展開になるも一歩日立がリズムに乗れず、前半8—6とジャスコリードで終了。
　後半に入り双方ともに持ち味を生かした攻防にて中盤以降日立に疲れが見え、逆にジャスコはGK

〔日立〕		得
GK	葛生	0
GK	岡本	0
FP	手打	0
FP	前田	3
FP	清水	0
FP	井沢	4
FP	吉田	1
FP	山岸	4
FP	菅原	0
FP	山口	0
FP	中村	0
FP	尾苗	2
PT		(1)
		14

〔ジャ〕		得
GK	木村	0
GK	小深田	0
FP	寺沢	3
FP	石田	1
FP	近藤	4
FP	鷲野	5
FP	服部	4
FP	高岡	2
FP	寺西	0
FP	池田	1
FP	常石	0
FP	池田	0
PT		(2)
		20

（審・板倉、岩本）

小深田の好キーピングにより攻撃にもリズムとスピードがつき、寺沢、鷲野などの活躍で一気に突き放した。

第3週第2日（6月15日）

▼西宮市立中央体育館（兵庫）

ジャスコ 27（15—14／12—7）21 大和銀行

○…多彩なパスプレーでディフェンスを揺さぶるジャスコ、丸田のロングを軸に佐々木のサイド、上西のカットインなど切れ味のある個人技で攻める大和。開始10分で1—1と守り合いで始まったが、パスワークで二次速攻をくり広げるジャスコが前半5点リード。大和も後半、佐々木、植田などの速攻で4連続ゴールをあげ追い上げたが、ジャスコ・寺沢のロングが後半決まり、振り切った。

	〔大和〕	得	〔ジャ〕	得
GK	高浜	0	木村	0
GK	増見	0	小深田	0
FP	丸田	5	寺沢	6
FP	上西	2	石田	4
FP	赤瀬	5	近藤	13
FP	佐々木	5	鷲野	1
FP	植田	1	服部	3
FP	天谷	0	高岡	0
FP	前田	0	寺西	0
FP	裏川	0	池田	0
FP	上村	3	常石	0
FP	鈴木	0	武田	0
		21		27
PT		(1)		(8)

（審・北山　大原）

▼同

日立栃木 25（10—14／15—8）22 大崎電気

○…詰めの良い日立栃木のディフェンスに攻めあぐんだ大崎電気だったが、7点リードされながら後半すぐに徳渕、李の速攻などで4連続得点、3点差まで詰め寄った。その後は、日立も尾苗のロングなどで加点、日立リードで展開。大崎は終了5分前に石井の3連続シュートなどで1点差まで詰め寄ったが、日立・井沢の連続シュートで逃げ切った。

	〔大崎〕	得	〔日立〕	得
GK	大西	0	葛生	0
GK	梅野	0	岡本	0
FP	時実	2	手打	3
FP	松尾	1	前田	7
FP	石井	8	清水	0
FP	沖山	1	井沢	7
FP	徳渕	3	吉田	2
FP	須永	0	山岸	3
FP	李相玉	7	菅原	0
FP	江口	0	山口	0
FP	前川	0	中村	0
FP	鈴木	0	尾苗	3
		22		25
PT		(5)		(4)

（審・吉田　秋山）

▼岡崎市体育館（愛知）

立石電機山鹿 25（12—7／13—7）14 日本ビクター

○…2連勝中の立石電機と1分け2敗の日本ビクターの対戦は、立ち上がりからスピーディな展開であった。ディフェンス面ではそのためか少し荒さが見え、前半両チーム共に2名ずつの退場者を出す。前半、ビクターもよくくい付き13—7で終わる。

後半もスピード、パワーに勝る立石が、メンバーを全員投入できる余裕ができた。

	〔日ビ〕	得	〔立石〕	得
GK	渡辺	0	荒木	0
GK	小口	0	岡本	0
FP	武藤	5	山口	2
FP	長田	2	近藤	2
FP	下條	3	江口	2
FP	根本	3	岩村	2
FP	平松	1	池上	1
FP	太田	0	野嶋	6
FP	工藤	1	山内	5
FP	枝川	0	横田	0
FP	松井	0	福家	0
FP	永岡	0	武津	5
		14		25
PT		(4)		(4)

（審・川島　森）

第4週第2日（6月21日）

▼岐阜県民体育館

立石電機山鹿 21（11—8／10—8）16 日立栃木

○…立ち上がり40秒、前田の中央からのシュートにより日立が先行、4分には手打がリバウンドボールをうまく処理し、立石の2本のPTをGK葛生がこれを防ぎ、日立2—0とする。しかし、その直後、日立は手痛いミスを連続して犯し、これを立石は確実に得点、8分過ぎには2—2とする。その後互角の試合運びとなるが、25分過ぎ、立石は池上、山内、池上と3連続ゴールし、日立を突き放した。

後半に入り、立石は山内を中心に着実に加点、日立は手打、前田らで追撃をかけるが、立石のペースについていけず、5点のリードを奪われ試合を終了。

	〔日立〕	得	〔立石〕	得
GK	葛生	0	荒木	0
GK	岡本	0	岡本	0
FP	手打	3	山口	0
FP	前田	8	近藤	0
FP	清水	0	江口	4
FP	井沢	1	岩村	1
FP	吉田	0	池上	2
FP	山岸	1	野嶋	5
FP	菅原	0	山内	8
FP	山口	0	横田	0
FP	中村	0	福家	1
FP	尾苗	3	武津	0
		16		21
PT		(1)		(3)

（審・伊藤　加藤）

▼徳山市体育館（山口）

ジャスコ 26（10—10／16—9）19 日本ビクター

○…立ち上がりジャスコが2点を先取、その後1～2点差を保ちながらゲームが進行していったが、ビクターのシュートミスもあり、18分には4点差となりジャスコのペースとなる。結局、前半を16—9とジャスコのリードで終了。

後半も同じようなゲーム展開となったが、ビクターはどうしても点差をちぢめることができず、26—19で終了。

ジャスコの固いディフェンスにややビクターは攻め手がなかった。

	〔日ビ〕	得	〔ジャ〕	得
GK	渡辺	0	小深田	0
GK	小口	0	山口	0
FP	武藤	2	寺沢	3
FP	長田	8	石田	5
FP	下條	3	近藤	9
FP	根本	5	鷲野	0
FP	平松	0	服部	6
FP	太田	1	高岡	3
FP	工藤	0	石田	0
FP	枝川	0	寺西	0
FP	松井	0	池田	0
FP	永岡	0	常石	0
		19		26
PT		(1)		(3)

（審・古富　岡村）

▼大阪市中央体育館

大崎電気 21（10—12／11—6）18 大和銀行

○…前半開始直後、沖山の得点で先制した大崎が5分に3—0とリード、その後1点の取り合いとなったが、大和はPTを3本はずしたのがひびき、大崎に5点差をつけられ前半を終了した。

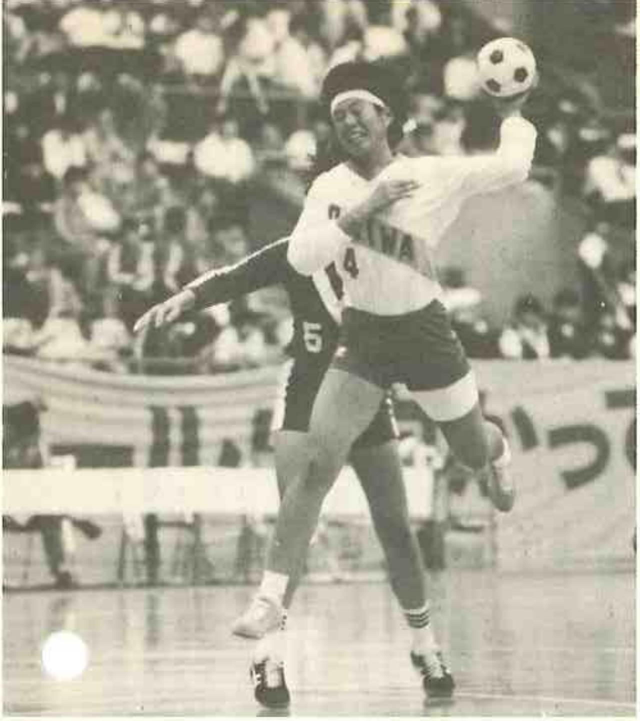
後半、大和は丸田のロングなどで大崎を必死に追撃したが、大



崎・李が要所でミドルを決め、大和の追撃をかわし逃げ切った。
なお、この試合で大崎・石井は44試合連続得点を記録し、日本リーグ記録とした。

得	〔大和〕		〔大崎〕	得
0	高浜	GK	西大	0
0	坂口	GK	梅野	0
5	丸田	FP	時実	2
3	上西	FP	松尾	2
2	赤瀬	FP	塩谷	0
2	佐々木	FP	石井	2
2	植田	FP	沖山	1
0	天谷	FP	徳渕	3
0	前田	FP	須永	0
0	裴川	FP	金玉花	5
4	上村	FP	李相玉	5
0	藤本	FP	江口	0
18	(3)	PT	(4)	21

（審・島田・浜田）



大和銀行対日本ビクター戦。大和・赤瀬のシュート

第4週最終日（6月22日）

▼京都市体育館

大崎電気 22（6－9、16－9）18 立石電機 山鹿

○…前半は両チームとも活気がなく、鈍い立ち上がりとなった。アクシデントで大崎・李が退場している間に立石が着々と得点を重ね点差を広げたが、大崎も徐々にペースをとり戻し、9－6と立石の3点リードで前半を終了。
後半、大崎の速攻が決まり始め立石も少しはペースをつかむのだが大崎に突き放された。

得	〔立石〕		〔大崎〕	得
0	荒木	GK	梅野	0
0	岡本	GK	佐々木	0
0	山口	FP	時実	3
0	近藤	FP	松尾	0
1	江口	FP	塩谷	0
3	岩村	FP	石井	8
4	池上	FP	沖山	4
5	野嶋	FP	徳渕	3
4	山内	FP	須永	0
0	横田	FP	金玉花	1
0	福家	FP	李相玉	3
1	武津	FP	江口	0
18	(3)	PT	(3)	22

（審・島崎・井上）

2部 前期結果

〈男子〉

▼6月1日（日）東根市
中村荷役 25（14－9、11－14）22 トヨタ自動車

▼6月14日（土）大阪市
トヨタ自動車 35（15－15、20－5）20 日鉄建材
本田技研熊本 26（9－13、11－11）24 中村荷役
大同特殊鋼 31（15－12、16－10）22 大阪イーグルス
トヨタ車体 24（13－6、11－12）18 大阪ガス

▼6月15日（日）岡崎市
大同特殊鋼 33（14－8、19－10）18 トヨタ車体

▼6月15日（日）大阪市
日鉄建材 27（12－14、15－10）24 大阪ガス
トヨタ自動車 30（16－6、14－17）23 本田技研熊本
大阪イーグルス 30（15－15、15－15）30 中村荷役

▼6月21日（土）大阪市
大阪ガス 30（14－17、16－12）29 大阪イーグルス

▼6月21日（土）名古屋市
大同特殊鋼 36（16－10、20－10）20 本田技研熊本
トヨタ車体 21（12－11、9－9）20 中村荷役

▼6月22日（日）名古屋市
大同特殊鋼 39（22－10、17－7）17 中村荷役
トヨタ自動車 35（17－12、18－11）23 大阪ガス
本田技研熊本 42（21－9、21－12）21 大阪イーグルス
トヨタ車体 23（12－10、11－10）20 日鉄建材

〈女子〉

▼6月1日（日）東根市
東京重機 27（10－6、17－6）12 ソニー国分

▼6月7日（土）塩山市
ブラザー工業 25（6－10、19－7）17 シャトレーゼ
北国銀行 30（18－7、12－11）18 ムネカタ

▼6月8日（日）甲府市
ブラザー工業 41（20－3、21－10）13 ムネカタ
北国銀行 20（10－12、10－6）18 シャトレーゼ

▼6月14日（土）大阪
東京重機 31（12－11、19－9）20 ムネカタ
シャトレーゼ 33（16－8、17－12）20 ソニー国分

▼6月15日（日）岡崎市
ブラザー工業 30（11－9、19－3）12 北国銀行

▼6月15日（日）大阪
ムネカタ 29（16－10、13－15）25 ソニー国分
東京重機 21（10－11、11－8）19 シャトレーゼ

▼6月21日（土）名古屋市
ブラザー工業 33（17－12、16－6）18 ソニー国分
東京重機 25（11－8、14－11）19 北国銀行
シャトレーゼ 27（14－9、13－7）16 ムネカタ
北国銀行 24（11－4、13－6）10 ソニー国分
ブラザー工業 25（10－14、15－9）23 東京重機



トヨタ自動車・川田のシュート



パワー効率重視。コートのマシン〈ランバード〉

室内コート専用のマルチファンクション ソール。

前後左右、あらゆる方向へのトラクション性にすぐれたヘリンボーン意匠をベースに、かかとには着地時の衝撃を吸収、分散するコンケーブ意匠を配置。また、ソール前半にはパワーロスを防ぐサイドモーション サポートリブ、回転運動の軸となるピボットリングをはじめ、屈曲性を高めるフレキシブルゾーンなどをレイアウト。多様なプレーに対応するソールパターンが生まれました。

〈ランバード〉ハンドボール シューズ
《ウイング ショット》¥12,000

- 甲/牛革 ●補強材/人工皮革 ●底/ラバー ハーフ シェル ソール
- カラー/16KH-1527 ホワイト・レッドにメタリックネイビー ライン
  /16KH-1562 ホワイトにレッド ライン

RUNBIRD
for The Sports-minded Cosmopolitan

選手権大会組合せ

米工大附高，女子・小松市立女子高の力が抜き出ているとの下馬評だが，真夏の祭典で最後に笑えるのは果たしてどこか……。

＜男子の部＞

No.	学校	都道府県	No.	学校	都道府県
1	久留米工大附属高	福岡	25	長崎日大高	長崎
2	盛岡一高	岩手	26	明石北高	兵庫
3	北陸高	福井	27	日川高	山梨
4	市川高	千葉	28	小諸高	長野
5	新居浜工高	愛媛	29	函館有斗高	北海道
6	長浜北高	滋賀	30	江津高	島根
7	土佐高	高知	31	岩井高	茨城
8	大島高	鹿児島	32	新庄工高	山形
9	学法石川高	福島	33	那賀高	和歌山
10	富岡高	群馬	34	天草高	熊本
11	四日市工高	三重	35	高松商高	香川
12	修道高	広島	36	市岐阜商高	岐阜
13	高岡向陵高	富山	37	古川工高	宮城
14	下関中央工高	山口	38	法政二高	神奈川
15	宮崎西高	宮崎	39	神埼農高	佐賀
16	三島高	大阪	40	下松工高	山口
17	境高	鳥取	41	添上高	奈良
18	足利工高	栃木	42	新潟江南高	新潟
19	小松明峰高	石川	43	玉野光南高	岡山
20	浦和学院高	埼玉	44	沼津東高	静岡
21	愛知高	愛知	45	明星高	東京
22	野辺地高	青森	46	池田高	徳島
23	大分電波高	大分	47	湯沢高	秋田
24	北嵯峨高	京都	48	コザ高	沖縄

Matches (left): A 1 (2–3), B 7 (1–A1), B 2 (4–5), A 8 (B2–6), A 13, A 3 (8–9), B 9 (7–A3), B 4 (10–11), A 10 (B4–12), A 15, B 17, A 5 (14–15), B 11 (13–A5), B 6 (16–17), A 12 (B6–18), B 16, F 4 (20–21), E 9 (19–F4), F 2 (22–23), E 7 (F2–24), B 14, A 20, A 22

Matches (right): E 1 (26–27), F 6 (25–E1), E 3 (28–29), F 8 (E3–30), D 12, E 5 (32–33), F 10 (31–E5), C 5 (34–35), D 10 (C5–36), D 14, B 19, D 4 (38–39), C 9 (37–D4), C 3 (40–41), D 8 (C3–42), C 13, D 2 (44–45), C 7 (43–D2), C 1 (46–47), D 6 (C1–48), C 11, A 18, A 24

Final: A 26 (A 22–A 24)

第37回全日本高校

第37回全日本高校選手権大会は，８月１日から６日まで山口県の徳山市で開催される。春の選抜大会で優勝した，男子・久留

＜女子の部＞

No.	学校	県	No.	学校	県
1	小松市立女高	石川	25	宣真高	大阪
2	添上高	奈良	26	日大山形高	山形
3	大曲農高	秋田	27	神埼農高	佐賀
4	明倫高	神奈川	28	福井商高	福井
5	香椎高	福岡	29	本巣高	岐阜
6	富岡東高	徳島	30	昭和学院高	千葉
7	静岡城北高	静岡	31	徳山商高	山口
8	山陽女子高	広島	32	高松商高	香川
9	コザ高	沖縄	33	佐賀関高	大分
10	国学院栃木高	栃木	34	日川高	山梨
11	佐久高	長野	35	西大寺高	岡山
12	聖和学園高	宮城	36	盛岡二高	岩手
13	群馬女子短大附属高	群馬	37	牧園高	鹿児島
14	高岡商高	富山	38	東宇治高	京都
15	夙川学院校	兵庫	39	水海道二高	茨城
16	釧路湖陵高	北海道	40	粉河高	和歌山
17	高知東高	高知	41	松江市立女高	島根
18	熊本女子商高	熊本	42	青森西高	青森
19	岩国商高	山口	43	今治北高	愛媛
20	彦根商高	滋賀	44	郡山女高	福島
21	米子北高	鳥取	45	藤村女高	東京
22	佐世保北高	長崎	46	新潟江南高	新潟
23	暁高	三重	47	本庄高	宮崎
24	川口青陵高	埼玉	48	名古屋短期大附属高	愛知

海外観戦記

神戸製鋼所・西村興八

西ドイツFinal リーグ観戦

（ミュンヘン：Rudi-Sedlmayer-Halleに於て）

フランクフルトの WIESBADEN へ 6 月中旬から 2 週間，設計，技術交流会で出張し，First リーグの Final game を観戦しましたので御報告します。

● MTSV Schwabing Ⅱ－TV Eggenfelden の対戦

4000人を収容できる館内に2500人の観衆が集まる中でのゲーム。2 m近い長身選手を集め，ナショナル・プレーヤーを主体とした両チーム。恵まれた体格に鍛えた体力での個人技。動き放しのオフェンス，ディフェンスのフットワーク。さらに接触プレーを切り抜けるスピード感とその間の一瞬のシュート力には本場のハンドボールの神髄を見ました。

迫力満点です！

フリースローライン前で 5 ― 1 列のピストン・ディフェンス。速攻あり，多彩なプレーには，40 m のコートが全く狭く感じられます。エキサイティングなゲームの中にも，レフェリーの判定に忠実なスポーツマンシップは光っていました。

また，地元 MTSV Schwabing Ⅱ を応援する子供たちの声援と得点時の紙風雪，フィーバーぶりも本場ですね。そのフィーバーは，阪神―巨人戦の甲子園以上です。

結局，16―18で MTSV Schwabing Ⅱ チームが負けましたが，得失点差で今季のリーグのカップを勝ちとりました。

試合後，ミュンヘン・オリンピック・スタジアムへツアーし，会場内でオリンピックの各種目優秀チームと名前が刻印されている記念塔に，私の高校時代のクラスメートであるバレーボールの中村裕造選手の名前を見て，旅先で深く感銘しました。

近き将来，日本のハンドボール・チームも金メダルをとり，オリンピック・スタジアムに名を残す日を心待ちします。



そして，多くのハンドボール・ファンが増えていく事を心から希望します。

〈追記〉

3 月中旬にも西ドイツに出張する機会があり，EINTRACHT WIESBADEN 対 TOS SCHUTTER-WALD の試合を観戦しました。EINTRACHT WIESBADEN には，日本の酒巻選手が所属し，TOS SCHUTTERWALD には，日本の玉村選手が所属していました。

この試合で，酒巻選手は 4 点，玉村選手は 2 点決めました。

日本人の活躍を見て，出張中仕事のストレスをすっかり忘れさせられるひとときでした。

両選手共大変人気があり，優秀な選手として高く評価されていたこと，大変嬉しく思いました。


molten
瞬間、
信頼の手がかり!
独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する
モルテンハンドボール
独特のリブ形状とパネル間段差の"32面体ノンスリップ構造"で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟（I.H.F.）公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。
MTH3 検定球3号
●日本ハンドボール協会検定球(J.H.A.)
●国際ハンドボール連盟公認球(I.H.F.)
モルテン
ハンドボール
株式会社モルテン
東京本社　東京都墨田区横川5－5－7 〒130 ☎(03)625－7581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・ジュッセルドルフ


800m²の青春
ねばり強いディフェンス、そして鋭いシュート!800m²のコートにとび散る汗。ハンドボールは、頭脳と技の闘いだ。空間に舞う身体、全身がひとつになりVへのゴールにボールが躍る。ミカサのハンドボールは、優れた弾力性と強度、そして手に吸いつくような感触で全世界のプレーヤーから絶賛を浴びています。勝利を目指す人の、ミカサのハンドボール。
新製品
小学生用軽量ハンドボール
MIKASA
HAND BALL
SIZE2
軽量球
MG-H2
重量265g
検定球
¥3,300
MGH3
MIKASA
本　社／〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 ☎(082)237-5145㈹
営業所／東京・大阪・名古屋・広島・福岡

各地学生春季リーグ戦

関西学生

▼男子1部

	得点	前半	後半	得点	
京産大	30	14-7	16-8	15	大阪大
近大	23	10-13	13-9	22	同大
大体大	37	17-7	20-7	14	大経大
同大	23	12-12	11-9	21	大阪大
天理大	30	15-15	15-14	29	近大
大経大	24	16-10	8-12	22	京産大
天理大	36	19-9	17-12	21	大経大
大体大	35	17-3	18-5	8	近大
大体大	33	14-10	19-5	15	京産大
天理大	39	20-18	19-9	27	大阪大
同大	29	14-9	15-13	22	大経大
大経大	24	10-11	14-10	21	近大
大体大	43	22-9	21-4	13	大阪大
京産大	28	16-10	12-11	21	近大
同大	24	13-9	11-12	21	天理大
大経大	35	20-17	15-10	27	大阪大
大体大	35	19-10	16-7	17	天理大
同大	22	14-10	8-5	15	京産大
近大	31	17-11	14-6	17	大阪大
天理大	27	17-11	10-10	21	天理大
大体大	24	13-9	11-13	22	同大

〔順位〕①大阪体育大②同志社大③天理大④大阪経済大⑤京都産業大⑥近畿大⑦大阪大

▼女子1部

	得点	前半	後半	得点	
武庫川大	48	25-2	23-3	5	成蹊短大
大体大	36	13-10	23-7	17	天理大
大教大	22	12-11	10-4	15	京教大
大教大	31	17-3	14-3	6	関大
大体大	48	23-3	25-4	7	成蹊短大
武庫川大	38	20-8	18-8	16	天理大
成蹊短大	22	10-11	12-10	21	京教大
武庫川大	49	22-0	27-2	2	関大
大体大	35	17-3	18-5	8	大教大
武庫川大	43	21-4	22-0	4	京教大
天理大	36	19-3	17-5	8	成蹊短大
大体大	35	15-5	20-6	11	京教大
成蹊短大	15	7-4	8-8	12	関大
武庫川大	38	19-3	19-6	9	大教大
天理大	34	15-3	19-2	5	関大
大体大	45	25-1	20-1	2	関大
天理大	20	10-5	10-7	12	京教大
大教大	26	12-4	14-8	12	成蹊短大
京教大	25	16-2	9-11	13	関大
天理大	32	15-4	17-6	10	大教大
武庫川大	16	11-7	5-8	15	大体大

〔順位〕①武庫川女大②大阪体育大③天理大④大阪教育大⑤大阪成蹊女短大⑥京都教育大⑦関西大

関東学生

▼男子1部

	得点	前半	後半	得点	
早大	29	11-13	18-9	22	中大
日大	35	21-17	14-9	26	日体大
慶大	27	12-15	15-8	23	筑波大
国士大	27	13-14	14-13	27	法大
国士大	31	18-12	13-15	27	日体大
中大	26	15-13	11-12	25	筑波大
早大	32	15-7	17-3	10	慶大
日大	35	17-15	18-14	29	法大
中大	29	15-8	14-11	19	日体大
法大	28	12-9	16-12	21	慶大
国士大	23	15-8	8-12	20	筑波大
早大	28	14-10	14-17	27	日大
日大	24	12-9	12-9	18	筑波大
国士大	26	12-13	14-9	22	早大
日体大	30	19-12	11-9	21	慶大
早大	36	11-13	15-14	27	法大
国士大	25	10-10	15-11	21	中大
日大	31	17-11	14-10	21	慶大
日体大	30	18-13	12-9	22	早大
筑波大	32	17-11	15-12	23	法大
国士大	34	19-8	15-6	14	慶大
日大	38	15-9	23-10	19	中大
早大	29	15-13	14-12	25	筑波大
日体大	35	18-19	17-13	32	法大
日大	23	11-10	12-13	23	国士大
中大	33	19-16	14-7	23	慶大

〔順位〕①国士館大②日本大③早稲田大④日本体育大⑤中央大⑥法政大⑦筑波大⑧慶応大

▼女子1部

	得点	前半	後半	得点	
日体大	31	15-7	16-4	11	東海大
筑波大	37	19-8	18-5	13	東学大
東女体大	28	13-6	15-9	15	日女体大
東女体大	36	17-8	19-12	20	日女体大
筑波大	36	19-3	17-0	3	東学大
日体大	37	20-6	17-4	10	東海大
東女体大	39	16-3	23-5	8	東学大
日体大	31	17-10	14-4	14	日女体大
筑波大	41	22-6	19-5	11	東海大
東女体大	37	17-4	20-6	10	東学大
日体大	21	11-11	10-4	15	日女体大
筑波大	34	16-6	18-7	13	東海大
東海大	17	8-7	9-7	14	東学大
東女体大	31	16-19	15-10	29	日体大
筑波大	21	9-9	12-6	15	日女体大
筑波大	25	11-7	14-8	15	日女体大
東学大	20	9-6	11-6	12	東海大
東女体大	27	14-11	13-8	19	日体大

日女体大 23（11-6、12-8）14 東海大
日体大 33（19-5、14-7）12 東学大
筑波大 26（18-12、8-13）25 東女体大
日女体大 22（12-6、10-4）10 東海大
日体大 25（12-9、13-8）17 東学大
東女体大 25（14-10、11-12）22 筑波大
筑波大 25（15-8、10-14）22 日体大
東女体大 40（16-5、24-8）13 東海大
日女体大 22（12-6、10-5）11 東学大
日女体大 17（9-7、8-4）11 東学大
東女体大 32（16-8、16-5）13 東海大
筑波大 22（11-9、11-9）18 日体大

［順位］①東京女子体育大②筑波大③日本体育大④日本女子体育大⑤東京学芸大⑥東海大

北海道学生

▼一部

函館大 41（22-5、19-6）11 釧路教大
函館大 31（18-14、13-11）25 学園大
小樽商大 39（19-11、20-7）18 旭川教大
北大 34（21-4、13-7）11 旭川教大
函館大 32（17-8、15-12）20 小樽商大
釧路教大 29（15-14、14-10）24 学園大
函館大 38（20-7、18-6）13 学園大
北大 22（10-6、12-7）13 小樽商大
小樽商大 23（10-11、13-7）18 学園大
釧路教大 26（11-8、15-5）13 旭川教大
小樽商大 24（12-12、12-7）19 釧路教大
学園大 15（8-4、7-6）10 旭川教大
函館大 23（13-12、10-7）19 北大

［順位］①函館大②北海道大③小樽商大④北海道教育大釧路分校⑤北海学園大⑥北海道教育大旭川分校

東北学生

▼一部リーグ

仙台大 29（14-14、15-15）29 山形大
東北学院大 36（21-11、15-9）20 宮城教大
福島大 27（15-11、12-12）23 山形大
東北学院大 39（19-17、20-11）28 仙台大
仙台大 36（20-13、16-12）25 宮城教大
東北学院大 35（22-11、13-16）27 山形大
岩手大 37（17-9、20-7）16 宮城教大
東北学院大 34（21-14、13-13）27 福島大
岩手大 34（15-13、19-9）22 山形大
福島大 32（15-16、17-15）31 宮城教大
岩手大 26（13-12、13-8）20 仙台大
山形大 29（16-6、13-14）20 宮城教大
岩手大 29（14-10、15-7）17 福島大
仙台大 26（14-15、12-10）25 福島大
岩手大 14（10-8、9-11）19 東北学院大

［順位］①岩手大②東北学院大③仙台大④福島大⑤山形大⑥宮城教育大

東海学生

〈男子〉

中京大 33（20-10、13-7）17 名大
名城大 19（13-10、6-8）18 愛学大
中京大 35（17-11、18-7）18 愛教大
中部大 24（12-10、12-7）17 名大
名城大 23（14-6、9-11）17 愛教大
中部大 26（14-7、12-9）16 愛学大
名城大 29（13-13、16-10）23 名大
中京大 34（14-9、20-8）17 愛学大
愛教大 25（15-15、10-8）23 名大
中京大 30（16-15、14-7）22 名城大
中部大 39（21-9、18-9）18 愛教大
中部大 25（7-11、18-10）21 名城大
愛学大 23（16-12、16-9）21 愛教大
名大 23（11-14、12-6）20 愛学大
中京大 29（14-11、15-11）22 中部大

［順位］①中京大②中部大③名城大④愛知学院大⑤名古屋大⑥愛知教育大

▼女子

愛教大 33（17-3、16-1）4 日福大
愛教大 18（10-5、8-10）5 中京女大
中京大 31（14-3、17-5）8 日福大
愛教大 14（7-4、7-6）10 中京大
中京女大 37（15-1、22-4）5 日福大
中京女大 25（10-10、15-8）18 中京大
愛教大 25（17-4、8-5）9 日福大
愛教大 23（8-7、15-10）17 中京大
中京女大 37（20-2、17-4）6 日福大
中京大 24（10-7、14-8）15 日福大
中京女大 20（12-8、8-5）13 愛教大
中京女大 31（17-9、14-10）19 中京大

［順位］①中京女大②愛知教育大③中京大④日本福祉大

各地の記録から・・・

第16回鳥取県室内総合

（3月16、21日／境港市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦

アシックスク 32－9 米子東高
おニャンコク 14－11 境港二中
境港三中 16－8 境ミドル
米子高専 17－6 境港一中
倉吉ク 34－14 境港工高
樫の葉ク 27－20 境港高
鳥取大 22－15 ダンデーズ

▼2回戦

アシックスク 29－12 おニャンコク
米子高専 30－11 境港三中
倉吉ク 21－20 樫の葉ク
鳥取大 30－10 米子西高

▼準決勝

アシックスク 50－16 米子高専
倉吉ク 27－26 鳥取大

▼決勝

アシックスク 35（17－9、18－8）17 倉吉ク

〈女子〉

▼1回戦

スランプ 23－2 米子東高
米子南高 15－4 境港二中
境港高 22－5 境港三中

▼2回戦

米子北高 16－5 スランプ
境港一中 16－10 倉吉産高
境ク 16－5 米子南高
境港高 21－12 米子西高

▼準決勝

米子北高 11－6 境港一中
境ク 25－8 境港高

▼決勝

境ク 19（8－7、11－4）11 米子北高

第39回京都府高校総体

（5日11、17、18日／西宇治高）

〈男子〉

▽上級

○Aゾーン

▼1回戦

嵯峨野 12－5 城南

▼2回戦

東宇治 23－3 嵯峨野
桃山 17－12 久御山
京都商 12－9 北稜
田辺 28－3 伏見工

▼準決勝

東宇治 13－12 桃山
田辺 21－9 京都商

▼決勝

東宇治 33－7 田辺

○Bゾーン

▼1回戦

堀川 13－12 洛西

▼2回戦

北嵯峨 25－8 堀川
乙訓 19－16 平安
向陽 21－9 鴨沂
洛水 19－9 洛陽工

▼準決勝

北嵯峨 20－10 乙訓
洛水 16－10 向陽

▼決勝

北嵯峨 14－11 洛水

○Cゾーン

▼1回戦

桂 23－10 日吉丘
東山 15－12 洛北
京都西 19－8 南八幡
城陽 39－6 塔南

▼準決勝

桂 19－11 東山
城陽 17－16 京都西

▼決勝

城陽 17－15 桂

○Dゾーン

▼1回戦

東稜 12－10 洛東
西宇治 30－6 宇治
西乙訓 14－12 木津
大谷 22－13 同志社

▼準決勝

西宇治 18－6 東稜
大谷 28－10 西乙訓

▼決勝

大谷 13－9 西宇治

▽下級

○Aゾーン

▼1回戦

洛北 10－6 平安
日吉丘 18－5 城陽
洛東 16－8 東宇治
堀川 20－3 同志社
嵯峨野 7－7 京都西 抽選

▼2回戦

向陽 15－6 洛北
日吉丘 15－8 洛東
堀川 8－7 乙訓
東稜 15－2 嵯峨野

▼準決勝

向陽 13－6 日吉丘
堀川 11－11 東稜 抽選

▼決勝

向陽 10－6 堀川

○Bゾーン

▼1回戦

桂 6－5 北嵯峨
大谷 28－3 西乙訓
久御山 14－6 北稜
桃山 17－2 田辺
城南 14－2 洛水

▼2回戦

洛星 12－5 桂
大谷 10－8 久御山
桃山 19－4 成章
西宇治 24－0 城南

▼準決勝

大谷 14－7 洛星
西宇治 18－5 桃山

▼決勝

西宇治 15－10 大谷

〈女子〉

▽上級

○Aゾーン

▼1回戦

塔南 21－6 城陽
北嵯峨 13－10 田辺
北稜 14－12 精華

▼準決勝

東宇治 19－8 塔南
北嵯峨 14－11 北稜

▼決勝

東宇治 20－10 北嵯峨

○Bゾーン

▼1回戦

西乙訓 17－2 城南
洛水 17－8 乙訓

▼準決勝

向陽 16－3 西乙訓
洛水 22－4 光華

▼決勝

向陽 13－7 洛水

○Cゾーン

▼1回戦

桃山 16－4 洛東
西山 12－9 桂

▼準決勝

桃山 19－5 明徳商
西宇治 16－5 西山

▼決勝

桃山 8－8 西宇治

※両校優勝。

○Dゾーン

▼1回戦

東稜 19－7 鴨沂
日吉丘 8－7 久御山

▼準決勝

東稜 15－14 洛西
京都女 24－2 日吉丘

▼決勝

東稜 11－10 京都女

▽下級

○Aゾーン

▼1回戦

北嵯峨 13－8 洛西
嵯峨野 11－3 塔南
日吉丘 12－0 城南

▼2回戦

東稜 23－10 北嵯峨
京都女 5－5 嵯峨野 抽選
山城 8－3 西乙訓
東宇治 24－0 日吉丘

▼準決勝

京都女 14－9 東稜
東宇治 15－2 山城

▼決勝

東宇治 15－2 京都女

○Bゾーン

▼1回戦

明徳商 16－3 北稜
乙訓 13－2 鴨沂

▼2回戦

明徳商 11－3 西宇治
向陽 16－1 桃山

田辺 12―0 洛北
乙訓 9―5 南八幡

▼準決勝
向陽 12―9 明徳商
乙訓 8―3 田辺

▼決勝
向陽 15―5 乙訓

第37回中国高校

（5月10、11日／徳山工高、徳山市体育館）

〈男子〉

▼1回戦
岩国（山口）19―16 修道（広島）
東岡山工（岡山）20―18 境港工（鳥取）
下松工（山口）27―8 米子東（鳥取）
総社（岡山）19―14 江津（島根）
岩国工（山口）20―13 呉昭和（広島）
玉野光南（岡山）37―18 松江工（島根）
下関中央工（山口）23―12 尾道（広島）
川本羽須美分（島根）17―13 境（鳥取）

▼2回戦
岩国 28―18 東岡山工
下松工 27―13 総社
岩国工 21―19 玉野光南
下関中央工 21―13 川本羽須美分

▼準決勝
岩国 21（8―11、13―8）19 下松工
下関中央工 21（10―7、11―10）17 岩国工

▼決勝
下関中央工 19（5―8、14―5）13 岩国

〈女子〉

▼1回戦
岩国商（山口）49―3 松江江南（島根）
山陽女（広島）36―8 境（鳥取）
比治山女（広島）10―5 総社（岡山）
高水（山口）23―15 江津（島根）
徳山（山口）20―9 西大寺（岡山）
米子南商（鳥取）17―8 松江市女（島根）
米子北（鳥取）19―14 落合（岡山）
徳山商（山口）28―5 進徳女（広島）

▼2回戦
山陽女 20―10 岩国商
高水 21―10 比治山女
徳山 34―4 米子南商
徳山商 25―6 米子北

▼準決勝
山陽女 24（10―7、14―2）9 高水
徳山 17（9―6、8―9）15 徳山商

▼決勝
山陽女 22（10―5、12―4）9 徳山

山口県高校総体

（5月24～26日）

〈男子〉

▼1回戦
下関工 21―15 防府西
岩陽 38―10 野田学園
早鞆 24―23 下松
高水 25―20 小野田工
宇部工 26―5 下関西

▼2回戦
岩国 26―12 下関工
岩陽 32―10 防府商
南陽工 20―12 山口
下関中央工 34―15 早鞆
下松工 29―18 高水
徳山 22―13 田部
下関第一 15―12 徳山工
岩国工 32―9 宇部工

▼3回戦
岩陽 15―13 岩国
下関中央工 34―16 南陽工
下松工 27―9 徳山
岩国工 36―5 下関第一

▼決勝リーグ
下関中央工 18（11―7、7―10）17 岩陽
下松工 16（12―6、4―6）12 岩国工
下松工 24（11―8、13―4）12 岩陽
下関中央工 17（10―9、7―8）17 岩国工
岩国工 22（10―9、12―7）16 岩陽
下関中央工 22（13―9、9―9）18 下松工

［順位］①下関中央工②下松工③岩国工④岩陽

〈女子〉

▼1回戦
光丘 30―2 西京
岩陽 25―4 早鞆

▼2回戦
岩国商 26―8 光丘
山口中央 25―9 新南陽
岩国 10―4 防府西
徳山 35―5 坂上
高水 22―11 響
防府商 22―9 徳山工
熊毛北 25―17 田部
徳山商 26―10 岩陽

▼3回戦
岩国商 21―6 山口中央
徳山 28―8 岩国
高水 35―18 防府商
徳山商 25―10 熊毛北

▼決勝リーグ
徳山 15（11―7、4―7）14 岩国商
徳山商 22（11―7、11―6）13 高水
岩国商 16（8―5、8―5）10 高水
徳山商 13（5―5、8―5）10 徳山
岩国商 16（10―11、6―4）15 徳山商
徳山 22（11―8、11―10）18 高水

［順位］①徳山商②岩国商③徳山④高水

関東高校

（5月30～6月2日／埼玉県浦和市）

〈男子〉

▼1回戦
下仁田（群馬）30―21 麻生（茨城）
塩山商（山梨）21―19 浦和学院（埼玉）
浦和実（埼玉）24―15 東邦大附東邦（千葉）
拓大一（東京）27―17 竜ヶ崎一（茨城）
生田（神奈川）23―20 吉井（群馬）
足利工（栃木）15―6 佐原（千葉）

日体荏原（東京）24-15 柿生（神奈川）
日川（山梨）18-17 川口北（埼玉）
市川（千葉）19-16 日大明誠（山梨）
浦和西（埼玉）31-15 小山南（栃木）
横浜商工（神奈川）29-12 中大附（東京）

▼2回戦
明星（東京）35-17 下仁田
法政二（神奈川）26-16 塩山商
浦和実 24-15 拓大一
国学院栃木（栃木）18-14 生田
岩井（茨城）19-12 足利工
日川 21-17 日体荏原
浦和西 21-20 市川
富岡（群馬）25-16 横浜商工

▼準々決勝
明星 26-22 法政二
浦和実 25-14 国学院栃木
日川 20-17 岩井
富岡 21-18 浦和西

▼準決勝
浦和実 20（9-9、6-6、3-2、2-2）19 明星
日川 17（8-5、9-7）12 富岡

▼決勝
日川 21（10-8、11-9）17 浦和実

〈女子〉
▼1回戦
有馬（神奈川）26-17 吉井（群馬）
小山城南（栃木）14-6 石神井（東京）
佼成学園（東京）16-9 昭和学院（千葉）
高崎市女（群馬）14-12 竜ヶ崎二（茨城）
成美学園（神奈川）16-11 三郷北（埼玉）
山梨（山梨）12-10 川口北（埼玉）
栃木女（栃木）19-13 江東商（東京）
群馬女短大附（群馬）21-12 東邦大附東邦（千葉）
国学院栃木（栃木）23-12 川口女（埼玉）
川崎北（神奈川）20-13 結城二（茨城）
藤村女（東京）32-2 吉田（山梨）

▼2回戦
川口青陵（埼玉）23-20 有馬
水海道二（茨城）16-12 小山城南
佼成学園 33-13 高崎市女
日川（山梨）17-13 成美学園女
明倫（神奈川）15-13 山梨
群馬女短大附 19-14 栃木女
国学院栃木 19-15 川崎北
藤村女 20-16 和洋女国府台

▼準々決勝
水海道二 11-10 川口青陵
佼成学園 13-9 日川
明倫 20-14 群馬女短大附
藤村女 19-18 国学院栃木

▼準決勝
佼成学園 15（9-5、6-7）12 水海道二
明倫 15（8-6、7-5）11 藤村女

▼決勝
明倫 18（9-6、9-11）17 佼成学園

第25回岡山県高校総体

（5月31日、6月1日／西大寺高）

〈男子〉
▼1回戦
岡山工 15-13 総社
玉野 19-17 大安寺
古城池 25-13 落合
倉敷工 20-13 倉敷商
東岡山工 17-14 児島
操山 16-14 津山
西大寺 17-11 芳泉
玉野光南 18-9 倉敷天城

▼2回戦
岡山工 21-15 玉野
倉敷工 20-20（PTC 6-5）古城池
東岡山工 20-19 操山
玉野光南 37-8 西大寺

▼準決勝
倉敷工 25-10 岡山工
玉野光南 22-10 東岡山工

▼決勝
玉野光南 30（15-5、15-10）15 倉敷工

※玉野光南は初優勝。

〈女子〉
▼1回戦
西大寺 25-7 玉野
玉野光南 21-5 芳泉
児島 17-7 倉敷商
真備 13-13（PTC 2-0）倉敷南
落合 14-11 操山
古城池 20-7 津山商
備前東 17-9 倉敷天城
総社 19-5 一宮

▼2回戦
西大寺 16-4 玉野光南
児島 21-6 真備
落合 25-11 古城池
総社 21-9 備前東

▼準決勝
西大寺 18-13 児島
総社 12-11 落合

▼決勝
西大寺 21（6-4、15-2）6 総社

※西大寺は6年ぶり2回目の優勝。

福井県高校春季総体

（5月31日、6月1、2日／羽水高）

〈男子〉
▼予選リーグ
○Aゾーン
北陸 31-10 福井商
金津 23-14 福井商
北陸 22-12 金津

○Bゾーン
藤島 25-23 羽水
武生 23-18 勝山
武生 22-8 羽水
藤島 25-18 勝山
羽水 23-18 勝山
藤島 16-16 武生

○Cゾーン
丹南 19-16 科技
高志 32-8 丹南
高志 33-12 科技

▼決勝トーナメント1回戦
金津 19-12 武生
藤島 23-15 丹南

▼準決勝
北陸 33-1 藤島
高志 26-13 金津

▼決勝
北陸 24（10-7、14-10）17 高志

※北陸は2年ぶり8回目の優勝。

〈女子〉
▼予選リーグ
○Aゾーン
福井商 48-3 藤島
羽水 26-3 藤島
福井商 29-6 羽水

○Bゾーン
仁愛 28-5 北陸
勝山 18-9 科技
勝山 15-8 北陸
仁愛 30-2 科技
科技 13-6 北陸
仁愛 44-6 勝山

○Cゾーン
武生商 29-6 福井女
高志 35-1 福井女
高志 21-15 武生商

▼決勝トーナメント1回戦
仁愛 26-7 羽水
武生商 31-11 勝山

▼準決勝
福井商 28-5 武生商
仁愛 17-8 高志

▼決勝
福井商 18（9-3、9-3）6 仁愛

※福井商は5年ぶり6回目の優勝。

第36回三重県高校総体

（5月31日、6月1、2日／四日市四郷高）

〈男子〉
▼1回戦
桑名 33-8 津
津工 15-10 高田

桑名工 22－14 四日市中央工
四日市西 25－8 朝明
尾鷲 17－8 日生第一
桑名北 16－12 四日市四郷
四日市 28－13 桑名西
四日市南 20－12 津西

▼2回戦
四日市工 35－12 桑名
海星 17－16 津工
津東 20－9 桑名工
四日市西 22－6 尾鷲
亀山 21－14 桑名北
四日市 25－15 四日市南

▼7～9位決定戦
桑名 14－12 津工
尾鷲 14－12 桑名工
四日市南 19－13 桑名北

▼3回戦
四日市工 29－13 海星
津東 19－13 四日市西
四日市 23－16 亀山

▼4～6位リーグ
海星 14－13 亀山
四日市西 19－14 亀山
海星 18－15 四日市西

▼決勝リーグ
四日市工 30（17－6、13－8）14 四日市
四日市 19（11－5、8－5）10 津東
四日市工 31（14－4、17－7）11 津東

〔順位〕①四日市工②四日市③津東④海星⑤四日市西⑥亀山

〈女子〉
▼1回戦
桑名北 16－15 上野商
四日市西 15－3 津東
四郷 15－6 尾鷲
上野 46－1 津
四日市 17－2 朝明

▼2回戦
暁 51－3 桑名北
桑名 30－2 津西
四日市南 13－10 四日市西
四郷 21－4 松阪女
四日市商 21－11 上野
亀山 18－7 四日市

▼7～9位決定戦
桑名北 30－4 津西
四日市西 45－1 松阪女
上野 22－9 四日市

▼3回戦
暁 32－4 桑名
四日市南 22－12 四郷
四日市商 20－3 亀山

▼4～6位決定リーグ
亀山 14－7 桑名
亀山 20－6 四郷
四郷 8－7 桑名

▼決勝リーグ
暁 22（11－3、11－6）9 四日市商
四日市商 17（8－6、9－6）12 四日市南
暁 30（15－4、15－2）6 四日市南

〔順位〕①暁②四日市商③四日市南④亀山⑤四郷⑥桑名

第21回鳥取県高校総体

（6月1、2日／倉吉産業高）

〈男子〉
▼1回戦
米子北 30－17 米子西
境港工 棄権 倉吉東
米子東 25－15 倉吉工

▼準決勝
境港 35－7 米子北
境港工 22－14 米子東

▼決勝
境港 24（16－5、8－3）8 境港工

▼敗者復活1回戦
倉吉工 棄権 倉吉東

▼同2回戦
米子東 21－9 米子西
米子北 23－20 倉吉工

▼3位決定戦
米子北 22－19 米子東

〈女子〉
▼1回戦
境港 29－6 米子東
米子西 16－12 倉吉西
米子南 27－7 倉吉産

▼準決勝
米子北 15－11 境港
米子南 26－12 米子西

▼決勝
米子北 15（10－4、5－6）10 米子南

▼敗者復活1回戦
倉吉産 14－13 倉吉西

▼同2回戦
米子西 22－9 米子東
境港 22－8 倉吉産

▼3位決定戦
境港 29－14 米子西

全国高校京都府予選

（6月1日～22日／田辺高、向陽高、乙訓高、洛水高他）

〈男子〉
▼1回戦
桃山 23－17 乙訓
洛陽工 40－13 塔南
桂 22－16 同志社

▼2回戦
東宇治 13－10 桃山
城南 25－21 洛西
木津 19－13 堀川
洛東 24－18 西乙訓
京都西 21－19 洛北
久御山 19－16 北稜
城陽 33－13 東山
向陽 20－12 東稜
京都商 24－21 洛陽工
洛水 19－16 田辺
西宇治 20－12 嵯峨野
大谷 30－20 日吉丘
鴨沂 29－6 伏見工
洛星 34－14 宇治
平安 25－10 八幡
北嵯峨 20－17 南桂

▼3回戦
東宇治 41－7 城南
木津 21－15 洛東
京都西 24－16 久御山
向陽 23－11 城陽
洛水 24－13 京都商
西宇治 14－13 大谷
洛星 14－13 鴨沂
北嵯峨 36－13 平安

▼準々決勝
東宇治 32－3 木津
向陽 37－19 京都西
洛水 16－10 西宇治
北嵯峨 37－12 洛星

▼準決勝
東宇治 19－19 向陽（3 PTC 1）
北嵯峨 17－15 洛水

▼3位決定戦
向陽 18－16 洛水

▼決勝
北嵯峨 19（10－7、9－8）15 東宇治

※北嵯峨は初優勝。

〈女子〉
▼1回戦
北嵯峨 17－10 北稜
山城 16－4 城南
西山 12－4 久御山
桂 16－13 田辺
東稜 20－5 洛東
西乙訓 16－14 光華
明徳商 30－3 南八幡
精華 23－6 洛北
乙訓 22－10 嵯峨野
桃山 27－7 鴨沂
京都女 35－2 西京商
西宇治 18－16 洛西
塔南 22－6 日吉丘

▼2回戦
東宇治 40－8 北嵯峨
西山 20－14 山城
東稜 22－6 桂
明徳商 29－6 西乙訓
洛水 22－14 精華
桃山 13－8 乙訓
西宇治 11－10 京都女
向陽 19－10 城南

▼準々決勝
東宇治 29－7 西山
東稜 18－8 明徳商
桃山 14－12 洛水
向陽 18－6 西宇治

▼準決勝
東宇治 19－12 東稜
向陽 15－7 桃山

▼3位決定戦
東稜 16－14 桃山

▼決勝
東宇治 17（6－7、11－3）10 向陽

※東宇治は2年ぶり6回目の優勝。

石川県高校総体

（6月5～8日／小松市末広体育館）

〈男子〉
▼1回戦
小松 18－14 小松商
金沢二水 22－9 金沢

金沢市工 22－12 大聖寺
松陵工 18－14 松任
星稜 26－5 県工
錦丘 22－15 金沢商
金沢向陽 28－18 羽咋
寺井 20－18 泉丘
小松工 29－11 小松
小松明峰 36－10 金沢二水

▼3回戦
小松工 36－12 金沢市工
星稜 32－9 松陵工
錦丘 26－11 金沢向陽
小松明峰 34－10 寺井

▼準決勝
小松工 30－14 星稜
小松明峰 31－8 錦丘

▼決勝
小松明峰 22（6－5、9－10、2－2、1－1、1－1、3－1）20 小松工

※小松明峰は初優勝。

〈女子〉
▼1回戦
小松商 26－7 小松明峰
金沢商 28－6 星稜
寺井 14－9 金沢短大高
小松市女 32－0 松任

▼準決勝
小松商 27－7 金沢商
小松市女 39－1 寺井

▼決勝
小松市女 16（9－4、7－2）6 小松商

※小松市女は2年ぶり20回目の優勝。

佐賀県高校総体

（6月7、8日／神埼農高）

〈男子〉
▼リーグ戦
神埼農 25－15 佐賀農
神埼農 31－6 佐賀西
神埼農 27－12 神埼
神埼農 47－5 佐賀東
佐賀農 19－17 神埼
佐賀農 27－8 佐賀東
佐賀農 22－14 佐賀西
佐賀西 15－12 神埼
佐賀西 19－12 佐賀東
神埼 23－12 佐賀東

［順位］①神埼農②佐賀農③佐賀西④神埼⑤佐賀東

〈女子〉
▼リーグ戦
神埼農 25－2 嬉野商
神埼農 29－4 神埼
神埼農 22－4 佐賀東
神埼農 34－5 東松浦
神埼農 12－11 佐賀女
佐賀女 19－7 佐賀東
佐賀女 20－3 嬉野商
佐賀女 22－3 神埼
佐賀女 37－5 東松浦
佐賀東 6－5 嬉野商
佐賀東 15－9 東松浦
佐賀東 14－9 神埼
嬉野商 13－12 神埼
嬉野商 12－12 東松浦
神埼 13－5 東松浦

［順位］①神埼農②佐賀女③佐賀東④嬉野商⑤神埼⑥東松浦

長崎県高校総体

（6月7～9日／長崎日大高）

〈男子〉
▼1回戦
口加 32－12 鹿町工
佐世保西 23－20 長崎北
西彼 32－19 北陽台
長崎工 18－8 佐世保北
波佐見 23－20 西海
長崎南 18－9 佐世保商
瓊浦 16－7 上五島

▼2回戦
長崎日大高 32－7 口加
佐世保西 19－16 西彼
長崎工 32－9 波佐見
瓊浦 31－8 長崎南

▼準決勝
長崎日大高 35－13 佐世保西
瓊浦 15－14 長崎工

▼決勝
長崎日大高 27（15－6、12－4）10 瓊浦

〈女子〉
▼1回戦
長崎北 7－5 島原農

▼2回戦
佐世保北 33－5 佐世保女
佐世保西 13－5 長崎北
有馬商 19－3 長崎日大高
佐世保商 10－7 聖和

▼準決勝
佐世保北 20－9 佐世保西
佐世保商 19－13 有馬商

▼決勝
佐世保北 17（8－8、9－6）14 佐世保商

第35回宮城県高校総体

（6月7～9日／仙台市体育館、仙台西高）

〈男子〉
▼1回戦
仙台南 34－7 榴ヶ岡
一迫商 32－19 大崎中央
宮城広瀬 16－10 宮城水産
仙台西 24－17 東北工大電子高
古川商 24－19 仙台二
築館 16－11 宮城工
泉松陵 20－16 塩釜
佐沼 12－0 上沼農
仙台育英 21－20 名取北
仙台 23－19 東北
泉館山 17－11 仙台商

▼2回戦
古川工 28－11 仙台南
一迫商 20－8 仙台三
仙台 34－9 宮城広瀬
仙台一 21－19 古川商
仙台向山 30－15 築館
泉松陵 15－13 佐沼
仙台育英 23－16 仙台
古川 31－7 泉館山

▼3回戦
古川工 32－7 一迫商
仙台西 16－15 仙台一
仙台向山 31－13 泉松陵
古川 27－21 仙台育英

▼準決勝
古川工 31－8 仙台西
仙台向山 22－17 古川

▼決勝
古川工 19（9－8、10－6）14 仙台向山

※古川工は3年連続優勝。

〈女子〉
▼1回戦
聖和学園 13－5 宮城二女
古川商 40－8 仙台西
塩釜女 17－11 名取北
飯野川 25－11 泉館山
宮城三女 17－9 朴沢女
古川女 15－5 仙台女商
宮城一女 22－4 泉松陵
涌谷 26－2 築館女

▼2回戦
聖和学園 23－11 古川商
飯野川 14－11 塩釜女
宮城三女 14－11 古川女

涌谷 14－5 宮城一女

▼準決勝
聖和学園 22－10 飯野川
宮城二女 14－8 涌谷

▼決勝
聖和学園 17（6－5、11－5）10 宮城三女

※聖和学園は2年ぶり2度目の優勝。

全国高校総体奈良県予選

（6月7、8、14日／生駒市総合体育館、生駒市民体育館）

〈男子〉

▼1回戦
広陵 11－10 高田東
正強 16－13 畝傍
生駒 21－20 一条

▼2回戦
添上 40－6 広陵
郡山 13－9 斑鳩
東大寺 31－4 桜井商
奈良 24－11 片桐
上牧 17－10 正強
天理 22－15 富雄
奈良工 22－7 十津川
橿原 15－15（PTC 2－0）生駒

▼3回戦
添上 32－9 郡山
奈良 17－16 東大寺
上牧 17－13 天理
橿原 17－10 奈良工

▼準決勝
添上 29－13 奈良
橿原 18－14 上牧

▼決勝
添上 27（14－8、13－9）17 橿原

※添上は6年連続23回目の優勝。

〈女子〉

▼1回戦
白藤 34－13 桜井商
十津川 22－4 片桐
郡山 18－8 橿原
短大付 10－9 富雄

▼2回戦
生駒 18－8 白藤
上牧 12－9 十津川
郡山 19－3 一条
添上 11－10 短大付

▼準決勝
生駒 23－5 上牧
添上 17－10 郡山

▼決勝
添上 13（7－4、6－5）9 生駒

※添上は7年連続15回目の優勝。

全国高校総体埼玉県予選

（6月7、14、15、16、21、22日／伊奈学園総合高校）

〈男子〉

▼1回戦
上尾沼南 20－11 小松原
伊奈学園 30－12 大宮北
和光 27－12 八潮南
県坂戸 27－13 春日部東
春日部共栄 26－14 筑波大坂戸
羽生一 22－19 春日部
西武台 45－12 久喜工
狭山 23－18 西武文理
東農大三 22－16 大井
志木 19－16 草加
大宮 32－12 秩父
上尾東 26－11 所沢北
朝霞西 25－23 北本
埼玉栄 34－18 熊谷
大宮南 36－4 桶川西
草加東 32－31 桶川
埼玉一 36－7 宮代
川口東 31－10 浦和工
越谷南 21－21（3PTC2）科学技術
三郷北 24－16 所沢緑ヶ丘
戸田 16－15 庄和
浦和市立 29－11 川口

▼2回戦
城北埼玉 30－16 上尾沼南
伊奈学園 32－13 和光
春日部工 33－19 県坂戸
春日部共栄 35－11 越谷西
聖望 27－24 羽生一
西武台 45－11 狭山
志木 25－6 東農大三
大宮 33－7 鴻巣
上尾東 22－15 上尾南
埼玉栄 39－10 朝霞西
大宮南 33－16 草加東
朝霞 30－22 埼玉一
川口東 36－8 富士見
越谷南 34－9 三郷北
戸田 34－17 岩槻
浦和市立 53－10 秩父

▼3回戦
伊奈学園 25－19 城北埼玉
春日部工 27－17 春日部共栄
西武台 33－15 聖望
大宮 20－19 志木
埼玉栄 24－23 上尾東
大宮南 27－18 朝霞
越谷南 19－15 川口東
浦和市立 29－15 戸田

▼4回戦
浦和実 22－15 伊奈学園
城西川越 30－21 春日部工
川口北 27－19 西武台
川口工 40－11 大宮
浦和学院 24－18 埼玉栄
川口青陵 21－13 大宮南
浦和西 32－21 越谷南
浦和市立 26－25 浦和南

▼ブロック代表決定戦
浦和実 29－20 城西川越
川口工 21－20 川口北
浦和学院 21－17 川口青陵
浦和西 25－19 浦和市立

▼決勝リーグ
浦和学院 15（10－9、5－5）14 浦和実
浦和学院 26（13－11、13－7）18 浦和西
浦和学院 27（13－13、14－12）25 川口工
浦和実 17（10－6、7－8）14 浦和西
浦和実 27（12－7、15－8）15 川口工
浦和西 27（11－9、16－8）17 川口工

〔順位〕①浦和学院②浦和実③浦和西④川口工

※浦和学院は初優勝。

〈女子〉

▼1回戦
越谷南 11－11（PTC 2－0）筑波大坂戸
和光 14－5 大宮北
大宮武蔵野 10－8 狭山
浦和市立 21－11 朝霞
浦和西 19－9 浦和学院

▼2回戦
八潮 29－4 越谷南
庄和 20－4 春日部東
浦和商 16－12 深谷一
伊奈学園 18－6 所沢北
草加東 19－4 和光
行田女 27－7 幸手商
上尾南 19－9 秋草学園
小松原女 15－7 大宮武蔵野
浦和市立 18－15 春日部女
大宮開成 19－9 北本
熊谷女 21－6 志木
草加南 12－0 熊谷商
浦和西 27－6 秩父
八潮南 19－6 草加
川口東 35－2 本庄女
上尾東 22－4 戸田

▼3回戦
八潮 25－10 庄和
伊奈学園 25－2 浦和商
行田女 18－9 草加東
上尾南 16－14 小松原女
浦和市立 25－9 大宮開成
熊谷女 23－4 草加南
浦和西 27－5 八潮南
川口東 11－10 上尾東

▼4回戦
川口青陵 30－14 八潮
羽生一 20－16 伊奈学園
三郷北 24－17 行田女
浦和南 30－4 上尾南
川口北 27－10 浦和市立
浦和実 30－12 熊谷女
川口女 23－22 浦和西
川口東 15－12 春日部共栄

▼ブロック代表決定戦
川口青陵 25－13 羽生一
浦和南 17－14 三郷北
浦和実 18－7 川口北
川口女 18－6 川口東

▼決勝リーグ
川口青陵 22（12－2、10－5）7 川口女
川口青陵 15（6－9、9－3）12 浦和南
川口青陵 27（10－5、17－6）11 浦和実
川口女 16（5－9、11－4）13 浦和南
川口女 18（7－5、11－4）9 浦和実
浦和南 17（8－8、9－6）14 浦和実

[順位] ①川口青陵②川口女③浦和南④浦和実
※川口青陵は初優勝。

群馬県中学春季大会

（6月8、15日／富岡小、富岡東中）

〈男子〉

▼1回戦
富岡東 27－8 藤岡南
桐生相生 28－9 高崎矢中
下仁田東 21－8 甘楽三
前橋三 28－12 藤岡北
富岡南 19－11 高崎南八幡

▼2回戦
富岡 15－13 富岡東
下仁田東 29－4 桐生相生
甘楽二 27－4 前橋三
下仁田西 22－11 富岡南

▼準決勝
下仁田東 15－14 富岡
下仁田西 17－12 甘楽二

▼決勝
下仁田東 16（10－7、6－5）12 下仁田西

※下仁田東は初優勝。

〈女子〉

▼1回戦
富岡 21－6 高崎矢中
高崎塚沢 20－7 高崎相生
高崎高南 19－8 太田休泊
高崎南八幡 14－12 富岡南

▼準決勝
富岡 15－9 高崎塚沢
高崎高南 9－8 高崎南八幡

▼決勝
富岡 16（8－2、8－4）6 高崎高南

※富岡は2年連続2度目の優勝。

全国クラブ選手権石川県予選

（6月8、15日／金沢美大体育館）

▼1回戦
星稜ク 31－10 松陵ク
あすなろク 31－16 県工ク
24－20 小松クB

▼準決勝
小松クA 25－18 星稜ク
31－22 あすなろク

▼決勝
小松クA 24（11－10、13－10）20 小松ウエンズデイ

※小松クは4年連続5回目の優勝。

全国高校群馬県予選

（6月8、15日／吉井、富岡他）

〈男子〉

▼1回戦
前橋商 17－14 桐生
桐生工 32－11 藤岡

▼2回戦
富岡 37－7 前橋商
下仁田 32－18 玉村
前橋 18－10 育英
吉井 28－21 桐生工

▼準決勝
富岡 26－12 下仁田
吉井 23－14 前橋

▼決勝
富岡 25（10－12、15－9）21 吉井

※富岡は6年連続22回目の優勝。

〈女子〉

▼1回戦
前橋市女 24－11 前橋東商
下仁田 31－8 桐生女
桐生西 17－13 佐藤

▼2回戦
群馬女 34－10 前橋市女
高崎市女 24－7 高崎女
下仁田 36－2 前橋商
吉井 32－3 桐生西

▼準決勝
群馬女 30－13 高崎市女
吉井 20－11 前橋商

▼決勝
群馬女 20（9－5、11－12）17 吉井

※群馬女は5年ぶり5回目の優勝。

第16回関東クラブ選手権

（6月14、15日／笠間市民体育館、笠間高校体育館）

〈男子1部〉

▼1回戦
日川ク（山梨）28－6 46G会（埼玉）
前橋ク（群馬）24－12 柿の実会（栃木）
茨苑ク（茨城）26－12 蒔田ク（神奈川）
桜門ク（東京）28－11 小金ク（千葉）

▼準決勝
日川ク 38－9 前橋ク
桜門ク 24－16 茨苑ク

▼決勝
桜門ク 27（12－14、15－12）26 日川ク

▼3位決定敗者戦1回戦
46G会 29－12 柿の実会
蒔田ク 29－13 小金ク

▼2回戦
前橋ク 37－17 蒔田ク
茨苑ク 31－14 46G会

〈男子2部〉

▼1回戦
笠間ク（茨城）26－11 佐原ク（千葉）
ラージェスト（東京）36－14 北ク（栃木）
甲府ク（山梨）22－20 旭ク（神奈川）

▼準決勝
笠間ク 27－21 藤岡ク（群馬）
ラージェスト 23－20 甲府ク

▼決勝
ラージェスト 24（12－11、12－8）19 笠間ク

〈女子1部〉

▼1回戦
御城ク（茨城）19－11 和洋ク（千葉）
武蔵野ク（東京）14－8 保土ヶ谷ク（神奈川）
日川ク（山梨）15－6 オレンジク（栃木）

▼準決勝
御城ク 21－20 光電ク（群馬）
日川ク 17－16 武蔵野ク

▼決勝
日川ク 15（9－1、6－8）9 御城ク

▼3位決定敗者戦1回戦
保土ヶ谷ク 13－10 オレンジク

▼同2回戦
武蔵野ク 22－14 和洋ク
保土ヶ谷ク 20－19 光電ク

▼同3回戦
武蔵野ク 24－9 保土ヶ谷ク

〈女子2部〉

▼リーグ戦
前橋ク 13－7 あさがおク（千葉）
前橋ク（群馬）10－7 西峰ク（茨城）
あさがおク 13－8 西峰ク

[順位] ①前橋ク②あさがおク③西峰ク

第17回東海選手権

（6月15日／四日市市体育館）

〈男子〉
○Aブロック
▼1回戦
大同ク（愛知）46－11 市岐商ク（岐阜）
本田ク（三重）33－22 静農ク（静岡）
▼3位決定戦
静農ク 28－24 市岐商ク
▼決勝
大同ク 32（16－7、16－9）16 本田ク
○Bブロック
▼1回戦
蒲郡ク（愛知）25－18 清商ク（静岡）
アシスト岐阜ク（岐阜）17－16 鵜ノ森ク（三重）
▼3位決定戦
鵜ノ森ク 25－22 清商ク
▼決勝
蒲郡ク 29（17－10、12－15）25 アシスト岐阜ク
〈女子〉
▼1回戦
静岡城北ク（静岡）13－11 アプローズ（愛知）
ジャスコあゆみク（三重）24－8 腕満会（岐阜）
▼3位決定戦
アプローズ 17－11 腕満会
▼決勝
ジャスコあゆみク 18（9－4、9－4）8 静岡城北ク

和歌山県高校総体

（5月31～6月2日／打田町体育館、岩出町体育館）
〈男子〉
▼1回戦
桐蔭 28－13 海南
新宮 29－20 耐久
御防商工 33－24 粉河
笠田 28－19 箕島
近大附 35－7 和歌山東
市和歌山商 32－10 貴志川
▼2回戦
那賀 23－17 桐蔭
御防商工 28－18 新宮
笠田 37－26 近大附
県和歌山商 28－18 市和歌山商
▼準決勝
那賀 26－18 御防商工
笠田 20－16 県和歌山商
▼決勝
那賀 24（10－10、14－10）20 笠田
〈女子〉
▼1回戦
御防商工 28－6 貴志川
県和歌山商 15－10 新宮
那賀 24－10 新宮商
粉河 36－3 笠田
▼準決勝
御防商工 24－3 県和歌山商
粉河 34－6 那賀
▼決勝
粉河 19（9－5、10－5）10 御防商工

第39回青森県高校総体

（6月14日～16日／野辺地町）
〈男子〉
▼1回戦
柏木農 38－14 野辺地横浜
七戸 29－27 青森山田
青森東 19－13 十和田工
三本木 32－3 弘前南
青森南 28－11 五所川原
今別 24－12 野辺地工
野辺地 37－11 青森
▼2回戦
青森商 26－12 柏木農
青森東 18－5 七戸
青森南 15－12 三本木
野辺地 36－6 今別
▼準決勝
青森東 29－10 青森商
野辺地 31－7 青森南
▼決勝
野辺地 22（11－6、11－11）17 青森商
※野辺地は2年ぶり2回目の優勝。
〈女子〉
▼1回戦
青森西 33－6 三本木
青森中央 34－6 今別
青森商 32－2 七戸
野辺地 20－4 青森東
▼準決勝
青森西 30－13 青森中央
青森商 17－10 野辺地
▼決勝
青森西 26（12－9、14－9）18 青森商
※青森西は17年連続。

第15回鹿児島県中学春季大会

（6月19、20日／隼人町営体育館）
〈男子〉
▼1回戦
伊敷A 14－8 東谷山B
重富B 12－0 北指宿
附属A 11－4 谷山B
附属B 5－2 国分B
伊敷B 16－1 重富A
▼2回戦
国分A 11－1 伊敷A
附属A 17－3 重富B
東谷山A 9－3 附属B
谷山A 18－3 伊敷B
▼準決勝
国分A 15－8 附属A
谷山A 23－15 東谷山A
▼決勝
谷山A 17（7－5、10－6）11 国分A
〈女子〉
▼リーグ戦
谷山 6（5－1、1－1）2 東谷山
附属 18（10－0、8－0）0 重富
附属 13（4－3、9－0）3 東谷山
谷山 14（8－0、6－2）2 重富
東谷山 10（6－1、4－3）4 重富
附属 7（4－3、3－1）4 谷山
[順位] ①附属②谷山③東谷山④重富

昭和61年度女子ジュニア・ナショナル第一次強化合宿（選手選考）

期間　5月23日(金)～25日(日)
場所　三重県四日市市富田・ジャスコ体育館

〈目的〉　国内実業団、大学、高校から推薦された37名を対象に第一次強化合宿を行ない、本年度ジュニア・ナショナル選手選考を兼ね、イタリア、インテラムニア国際、台湾、チュンチェン国際大会の強化訓練を行なうことを目的とする。

活動内容

○5月23日　選手集合確認。参加選手のチームのチーム編成、ブラザー工業、ジャスコとのゲーム。

○5月24日　選手基礎体力、筋力の測定、ブラザー工業、ジャスコとのゲーム。

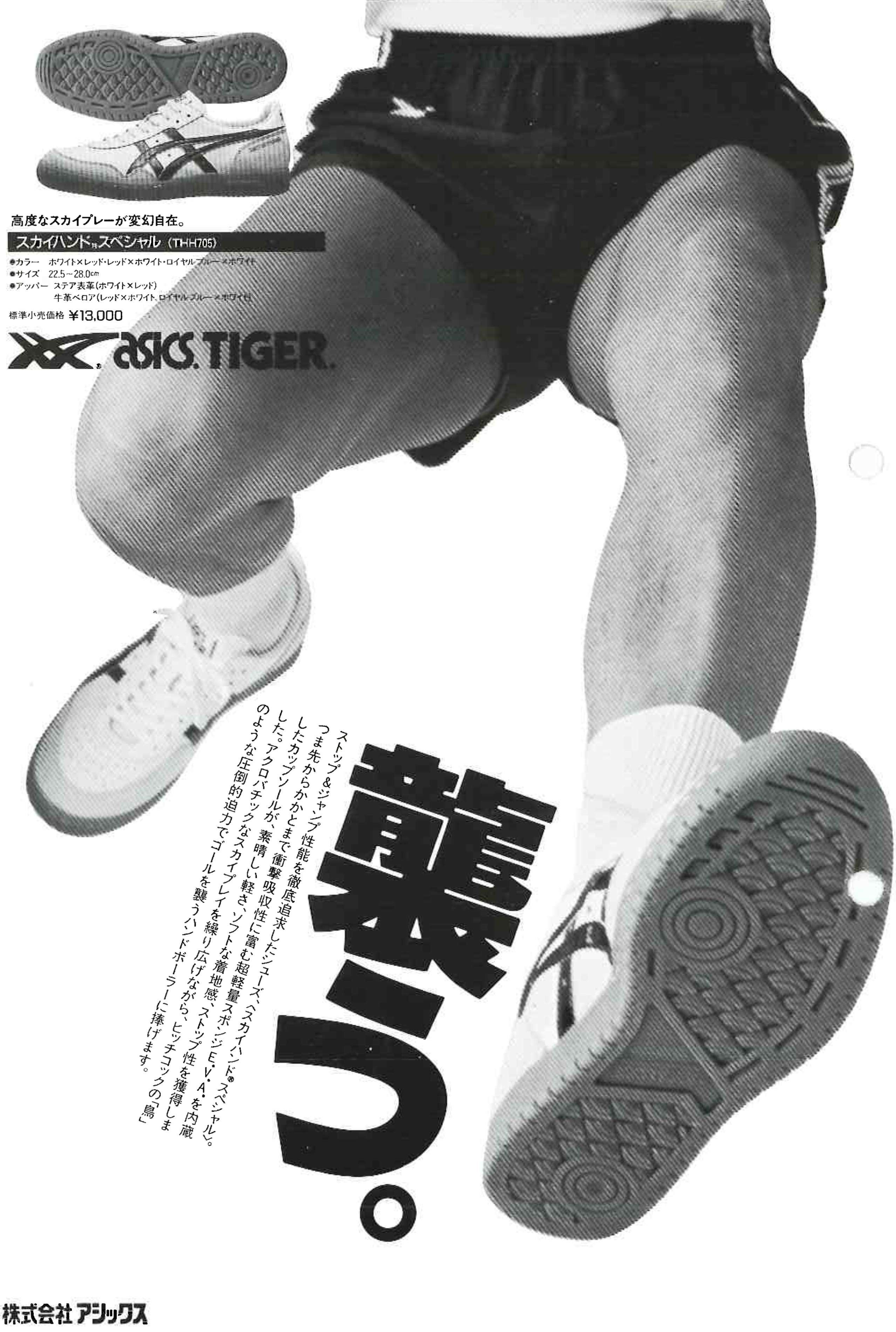
○5月25日　チームを4組編成し、ブラザー工業、ジャスコ、紅白のゲームを通してチーム編成の基礎資料作成。

〈成果〉　第一次強化合宿開催内容が選手選考を主目的としており、参加予定者数37名が、病気、社内事情、交通事故などにより実質参加者数30名の中から選考対象としなければならないことが残念であった。しかし、各実業団、大学から推薦された選手たちだけに甲乙つけがたく、選手選考に困難をきたした。選手一人一人は若年だけに緊張と遠慮が先立っていたが、日が進むにつれて意欲と自己の立場が認識され始め、今後に明るい材料となった。

〈今後の課題〉　第一次強化合宿において選手選考がなされ、本年度ジュニア・ナショナル選手団が編成されることになり、今後は第二次強化合宿を経て、最初の国際大会、インテラムニア大会に向け強化を計り、多くの体験と実際場面を経験させ、個人個人の能力を高め、チーム力の向上を計りたい。一人一人の選手が若いだけに技術、体力の顕著な伸びが期待できるが、体力、スピード、身長差に劣る対外国戦に日本チームとしては、ディフェンス力の強化が最優先されるだろうし、得点能力としての速攻力、個人個人の攻撃能力養成が課題となる。

参加者名簿

コーチ・講師		氏名	所属
1	監督	藤原　侑	日本体育大学
2	コーチ	鈴木孝八郎	県立北海道第二高校
3	コーチ	梶岡俊介	ジャスコ
4			
5	強化部長	近藤金博	東京重機
6			
7			
8			
9			
選手（受講者）		**氏名**	**所属**
1		佐藤泰子	東京重機
2		大林恵子	〃
3		武津優子	立石電機
4		中山美和子	〃
5		岡本浩美	日立栃木
6		梅津直美	〃
7		裵川亜由美	大和銀行
8		小池美由紀	〃
9		鈴木智津子	〃
10		江口喜栄子	大崎電気
11		鈴木美佐	〃
12		山口小百合	ソニー国分
13		坂倉ゆかり	ブラザー工業
14		道上圭子	〃
15		三浦葉子	〃
16		常石由香	ジャスコ
17		武田一実	〃
18		池田久美子	〃
19		寿糸育世	〃
20		佐々木光代	〃
21		太田弥生	日本ビクター
22		工藤寛美	〃
23		市来未央	日本体育大学
24		新田千里	〃
25		白鳥貴子	筑波大
26		前川仁子	武庫川女大
27		塩崎綾子	〃
28		池田能子	大阪体育大
29		執印真樹	佼成学園高校
30		村山みどり	名古屋短大附属高校
31			
32			
33			
34			



高度なスカイプレーが変幻自在。
スカイハンド®スペシャル（THH705）
●カラー　ホワイト×レッド・レッド×ホワイト・ロイヤルブルー×ホワイト
●サイズ　22.5～28.0cm
●アッパー　ステア表革（ホワイト×レッド）
牛革ベロア（レッド×ホワイト、ロイヤルブルー×ホワイト）
標準小売価格 ¥13,000
asics. TIGER.
襲う。
ストップ＆ジャンプ性能を徹底追求したシューズ、〈スカイハンド®スペシャル〉。つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジE・V・A・を内蔵したカップソールが、素晴しい軽さ、ソフトな着地感、ストップ性を獲得しました。アクロバチックなスカイプレイを繰り広げながら、ヒッチコックの「鳥」のような圧倒的迫力でゴールを襲うハンドボーラーに捧げます。
株式会社アシックス

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二五三号
昭和四十年六月七[illegible] 第三種郵便物認可
昭和六十一年六月二十五日 印刷
昭和六十一年七月 一 日 発行
東京都渋谷[illegible]一―一―一
電話 代表（[illegible]二三六一
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五拾円
（年間購読料三千三百円）

